

橋高で探究！

研究 追究！！

新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）報告書



和歌山県立橋本高等学校

はじめに

本校ではこれまで「総合的な探究の時間」において、1年次「地域」、2年次「SDGs」をテーマとし、課題解決への提案を作成するとともに、3年次は自ら設定したテーマ研究を行うことで、社会に対する認識を深め、自己の生き方を選択する能力や態度を育成するなど、一定の成果を上げてきました。

しかし、生徒たちの提案や研究が、異なる立場や環境にある人から見た場合に、説得力があるものとなっているか、また別角度からの指摘に対応できるかという点において、現在の取組の範囲内においては課題があると考えています。

生徒が生きていく社会においては、他者と協働しながら問題解決に向かい取組を進める力が必要不可欠であり、本校が目指す育成すべき生徒像もそこにあります。しかし、生徒の交流範囲は同地域に住む同世代の人々に限定されがちであり、本校卒業生が、グローバル化が進む社会において活躍する力を養うためには、自分たちとは違う立場や環境にある人々に対して、自分の考えを伝えるとともに、他者の価値観にも触れながら、自分の考えを深める経験を積み重ねていくことが求められています。

そこで、今年度文部科学省より採択されました「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」を通じて、本校生徒が将来、グローバル人材として活躍できるよう、コミュニケーション能力の育成を目指し、地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議を行い、多角的視点からの考察に基づく課題発表の実践に向けて取り組んでいます。

本校の1年目の研究・実践は試行錯誤の連続ですが、今後これらの取組を組織的・継続的に行えるよう推進体制を整備するとともに、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や自分たちの研究についての討議を通じて、生徒たちがどう変容していくかについても検証していきたいと考えております。

本報告書が普通科改革の推進に関わる関係者の皆様にご覧いただき、具体的な取組を進めるうえでの御参考になればと願うとともに、本事業実施にあたって多大なる御指導と御協力をいただきました文部科学省、県教育委員会、運営指導委員、コンソーシアム機関及び関係者の皆様に感謝申し上げます。

令和5年3月

和歌山県立橋本高等学校
校長 井筒正文

文部科学省 新時代に対応した高等学校改革推進事業
(普通科改革支援事業) 令和4年度開始

和歌山県立橋本高等学校



橋高で探究!

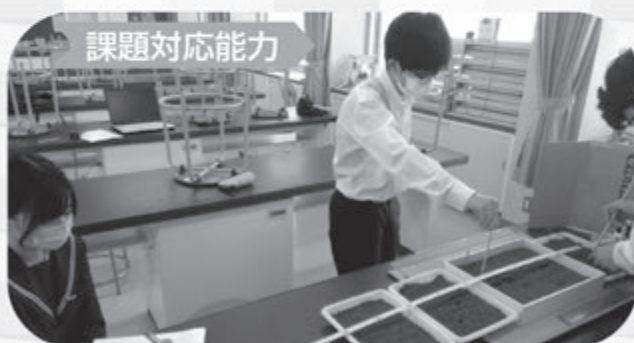
研究 追究!!

人間関係形成・社会形成能力



「普通教育を主とする学科」における
「学際領域に関する学科」開設を目指します!

課題対応能力



自己理解・自己管理能力





新時代をたくましく
生き抜くために!

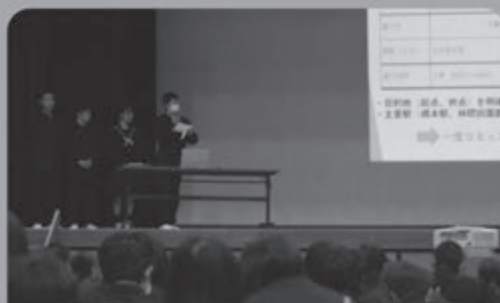
新たな 橋本高校を目指して

地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議することで、他者とコミュニケーションを取りながら、グローバルに活躍できる人材を育てる。

1 学年

国内外で活躍する社会人からの講演やインタビューの実施、他府県の高校とのディスカッション、和歌山の世界遺産や地場産業を英語で紹介する活動等に取り組み、コミュニケーションの基本的なスキルを修得するとともに、生徒にとって身近な地域の課題について探究活動を行う。

地域課題の発見・提起



SDGs探究



2 学年

SDGsをもとに課題を設定し、オンライン等を活用して、企業・大学と継続した意見交換を行い、プレゼンテーション能力の向上を図るとともに、課題解決に向けて研究を深める。

3 学年

2年生での研究を更に進め、海外の高校生と英語でディスカッションを行うことで、国際的なコミュニケーション能力を高めるとともに、より多角的な視点に基づき課題を追究し、グローバルに活躍できる力を身につける。

SDGs発信・交流



和歌山県立橋本高等学校

〒648-0065

和歌山県橋本市古佐田四丁目10番1号

Tel 0736-32-0049 Fax 0736-34-2185

目 次

はじめに

1. 事業の実績	1
2. 事業内容	2
3. 校内運営体制	8
4. コンソーシアムの体制および取組	9
5. コーディネーターの配置および活動内容と課題	10
6. 管理機関による事業の実施体制や管理方法	11
7. 1学年事業内容	12
8. 2学年事業内容	61

1. 事業の実績

(1) 事業の実施日程

実施項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
世界遺産に関する 課題研究	4回 現地学習 留学生交流	4回 中間発表	2回	4回 テーマ別発 表	3回 学年発表	2回 校内発表
県人会（アメリカ・カリフォルニア）との交流	2回 講演 交流					
市長への プレゼンテーション						1回
SDGsに関する課題研究	4回 企業訪問 講演	4回 中間発表	2回	4回 クラス内発 表	2回	2回 校内発表
北海道釧路湖陵高等学校 との討議						1回
高校（オーストラリア） との討議						2回
高校（台湾）との討議						1回
運営指導委員会			1回		1回	1回

(2) 事業の実績の説明

令和6年度から、学校設定科目「世紀の空」を開設するために、各学年1単位計3単位を設定し、「総合的な探究の時間」および各教科と関連付けながら、他者とのコミュニケーションの基本的なスキルを身につけるための活動を計画実施してきた。他府県・海外の高校生、国内外で活躍する社会人などの他者の価値観に触れながら研究を深めることを計画していたが、令和4年度においては、10月からの事業実施であったこともあり、各教科と総合的な探究の時間の関わりを意識したカリキュラムの実

践や外部機関との連携について、十分に行うことができなかった。令和5年度は、コミュニケーション能力の育成を目指し、多角的視点からの考察力を礎としたグローバル人材として、卒業後の社会貢献につなげるため、研究内容の実践を通して、カリキュラムや教育方法等の研究開発を行うことができるよう計画している。

以下は、令和4年度普通科改革推進事業として実施した各学年の事業内容とその課題である。

<参考>

本校は、併設型の中高一貫校であり、高等学校入学生4クラス、内部進学生1クラスの1学年5クラス編成である。1年次は高等学校入学生と内部進学生とはクラスを別にしてはいるが、2年次からは進路志望別での混成クラスとなり、A～C組が基礎学力重視のⅠ型、DEが応用力重視のⅡ型と分けている。

【1学年事業内容・課題】

① 世界遺産訪問事前学習

日時：9/17（土）～19（月） 全クラス

目的：事前学習を通して、世界遺産高野山の文化・歴史への学びを深め、地域にある世界遺産の価値や魅力について理解する。

内容：冊子Ⅰ「世界遺産高野山～高野山の魅力を学習しよう～」を用いて学習する。

② 世界遺産訪問直前指導

日時：10/4（火） 全クラス

目的：事前学習で扱った内容の講義を受けることで、世界遺産高野山の文化・歴史への学びを深め、訪問学習のねらいを明確にする。

内容：趣旨説明・日程確認事項・事前学習の振り返り

③ 世界遺産訪問

日時：10/6（木） 全クラス

場所：高野町

目的：世界遺産高野山の文化・歴史への学びを深め、地域にある世界遺産の価値や魅力について理解することで、探究活動に役立てる。

内容：講演 講師 高野山大学 山口文章 氏

「天空の聖地 高野山 ―世界遺産たる所以―」

体験 精進料理・奥の院（観光ガイド）・壇上伽藍・市内散策



④ 世界遺産訪問事後学習

日時：10/5（水）～10/11（火） 全クラス

目的：訪問学習を通して学んだことを振り返りまとめることで、世界遺産高野山への学びを深め、今後の探究活動に役立てる。

内容：冊子Ⅱ「世界遺産高野山～高野山の魅力を確認しよう～」を用いて学習内容をまとめる

⑤ 県人会との国際交流

日時：10/13（木）全クラス

目的：海外へ移住した和歌山県の先人たちの歴史を学ぶとともに、海外や異文化に対する理解を深める。また、海外県人会とのオンライン交流を行うための事前学習とする。

内容：講演 講師 県国際交流課 湯川香里 氏
「和歌山と移民」



⑥ 県人会との国際交流

日時：10/25（火）全クラス

目的：海外県人会の方々と英語での交流を行い、海外や異文化に対する理解を深める。

内容：県人会の方々とzoomにて交流



⑦ 留学生との交流

日時：10/28（金）1クラス

目的：観光学を学ぶ留学生のプレゼンテーションや意見交流を通して異文化理解を深め、探究活動に役立てる。

内容：①留学生自己紹介

東氏司会で留学生の自己紹介、プレゼンテーションを聞く。

②グループ中間発表・留学生との意見交流
テーマ・課題・質問事項について2分で発表し、留学生から意見をもらう。
(4つのグループに留学生が一人ずつ入り、ローテーションしながら交流する)



⑧ テーマ別発表

日時：1 / 19 (木) 全クラス

目的：設定したテーマにおいて、課題解決に向けた提言をプレゼンテーションすることで、達成感を高め、積極的な探究学習の取り組みにつなげる。

内容：クラス内の8班が、自分たちの提案等を発表する。



⑨ 学年発表

日時：2 / 10 (金) 全クラス

目的：代表班の発表と有識者からの講評を通じて、新たな視点を生徒間で共有し、探究学習を深化させる。

内容：テーマ別で選ばれた10班が、自分たちの提案等を発表する。
(発表時間：6～8分以内。準備を含めて10分以内)

⑩ 校内発表

日時：3 / 15 (水) 全クラス

目的：全学年代表班の発表と有識者からの講評を通じて、新たな視点を生徒間で共有し、探究学習を深化させる。

内容：学年発表で選ばれた3班が、自分たちの提案等を発表する。
(発表時間：10分程度。準備・質疑応答を含めて15分程度)

⑪ 市長プレゼンテーション

日時：3 / 22 (水) 代表班

目的：探究活動で橋本市の課題解決に向けて取り組んだ成果を橋本市への提言として市長にプレゼンテーションすることで、達成感を高め、積極的な探究学習の取り組みにつなげる。

内容：学年発表で選ばれた3班が、市長に向けてプレゼンテーションを行う。

⑫ 海外発信

日時：3月中に実施予定 全クラス

目的：世界遺産の魅力を海外に発信する。

内容：総合的な探究の時間の発表内容を写真と文字を用いて英語で紹介する。
1クラスは高野山の内容について、その他のクラスは総合的な探究の時間での発表内容について発信する。テーマの中で代表に選ばれた班の内容について、同じテーマを扱ったすべての生徒に配分し、提出された原稿を素に英語に訳す。

⑬ 春休み課題

日時：春休み 全クラス

目的：次年度テーマのSDGsについて、基礎知識や重要性について理解し、社会の課題を自らの問題として捉えることで、深い学びにつなげる。

内容：SDGsの内容について学習させ、来年度の学習につなげる。
詳細検討中

【2学年事業内容・課題】

① 夏休み課題

日時：夏休み 2クラス

目的：英文特集記事を読み、時間をかけて内容理解に取り組むことで、英語力の向上に努める。

内容：JICAの英語特集記事を読み、要約する。

② JICAとの交流

日時：9/9（金） 2クラス、9/16（金） 3クラス

目的：発展途上国への国際協力を実施する機関であるJICAの取り組みを通して、支援のあり方について理解を深め、探究活動に役立てる。

内容：① JICA自己紹介 ②生徒の活動支援

③ 人権教育講演会

日時：10/6（木） 全クラス

目的：性や性の多様性について正しく理解し、自他の性の在り方を尊重する態度を育み、性教育の充実を図る。

内容：講演 講師 LGBTとゆかいな仲間たち 代表 安西美樹 氏



④ 平和学習講演会

日時：10/6（木） 全クラス

目的：被爆者から受け継いだ被爆体験や平和への思い、また、被爆の実相（戦時下の人々の暮らし、原爆被害の概要、原爆の人体への影響など）、被爆体験伝承者としての平和への思いなどを聞き、平和について考え理解を深める。

内容：被爆体験伝承講演 講師 志賀雅子 氏



⑤ 企業訪問事前学習

日時：10/6（木）～11（火） 2クラス

目的：事前学習を通して、SDGsに積極的に取り組む企業について理解を深める。

内容：企業スマイリーアースのホームページ映像を視聴した後に課題学習を行い、当日の質問内容を考える。

⑥ 企業スマイリーアース訪問

日時：10/14（金） 2クラス

目的：SDGsに積極的に取り組む企業を視察することで、企業活動の考え方や取り組みについて理解を深め、探究活動に役立てる。

内容：工場見学（SDGsに積極的に取り組む意義と実践内容を聞く。）



⑦ 企業訪問事後学習

日時：10/14（金）～17（月） 2クラス

目的：企業訪問を通して学んだことを振り返りまとめることで、SDGsへの取り組みについて理解を深め、今後の探究活動に役立てる。

内容：今後の活かし方について学習内容をまとめ、自分の考えを書く。

⑧ プレゼンテーション講演会

日時：10/28（金） 全クラス

目的：プレゼンテーションの基本を体系的に学び、聴き手の共感を得る方法を理解することで、探究活動に役立てる。

内容：講演 講師 吉田大作 氏

「プレゼンテーションは準備が9割。プレゼンの3つのStepを理解しよう」



⑨ クラス内発表

日時：1/19（木） 全クラス

目的：各自で設定したテーマのもと、課題解決に向けた提言をプレゼンテーションし、達成感を高め、積極的な探究学習の取り組みにつなげる。

内容：クラス内の10班が、自分たちの提案等を発表する。



⑩ 校内発表

日時：3 / 15（水） 全クラス

（橋本市サカイキャニング産業文化会館「アザレア」）

目的：クラス内発表での発表内容について、吟味・精査し、探究活動の成果報告を行うことで、SDGsに対する意識の向上につなげるとともに一人一人の行動を変えていくことの大切さを学ぶ。

内容：クラスから選出された5班が、自分たちの提案等を発表する。

（発表時間：10分程度。準備・質疑応答を含めて15分）

⑪ 校内討論

日時：2～3月

目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、SDGsについて討議する。

⑫ 国内の高校生との討論

日時：3 / 7（火） 代表班の生徒 オンラインにて

目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに、校外高校生と討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、校外高校生とSDGsについて討議する。

⑬ 海外の高校生との討論

日時：3 / 22（水）・24（金） オンラインにて

目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに、海外高校生と英語で討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、海外高校生（オーストラリアのクリスチャンカレッジ）とSDGsについて討議する。

⑭ 海外の高校生との討論

日時：3 / 31（金） 希望者 オンラインにて

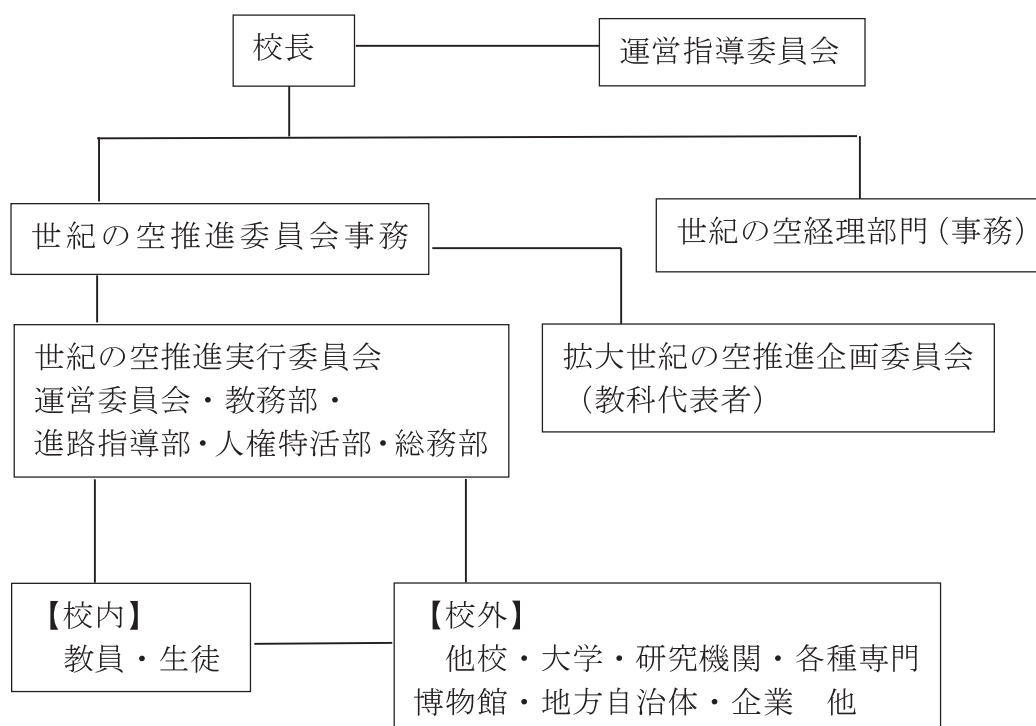
目的：探究活動を通して理解を深めたSDGsをテーマに、海外高校生と英語で討論することで、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成を目指す。

内容：総合的な探究の時間で学習した内容をもとに、海外高校生（台湾の台北市立松山高級工農職業学校）とSDGsについて英語で討議する。

【課題】

- ・ 講演会・現地学習の時期・内容の見直し、事前・事後の学習時間の確保と内容の充実。
- ・ 高等教育機関、研究機関などの外部機関との連携強化。
- ・ 総合的な探究の時間や各教科等と本事業を相互に関連付けたカリキュラム・マネジメントの充実。
- ・ 多角的、複合的視点からの考察に基づく課題発表の実践力強化。
- ・ 留学生や国内外の高校生との意見交流、討議の促進。

【校内運営体制】



① 運営指導委員会

大学教員・研究者・関係機関・教育委員会の指導主事等で構成し、専門的な見地から事業全体について指導、助言、評価する。

(構成員)

和歌山教育委員会 学校教育局県立学校教育課
橋本市教育委員会 生涯学習課・学校教育課
橋本市役所 総合政策部政策企画課
橋本市国際親善協会
公益財団法人和歌山県国際交流協会
和歌山大学教育学部

② 世紀の空推進委員会事務

研究開発の進捗状況を確認し、職員会議に報告し、運営指導委員会に対して進捗状況、計画・方法について評価を受ける。評価結果から世紀の空推進委員会事務は改善案を作成し、世紀の空推進実行委員会にて検討・計画の改善を行う。また、世紀の空推進委員会事務は、コーディネーターとともに、学外との協働による事業全般の企画・立案・実施と各教科と連絡調整を行い、研究開発において生徒を指導する指導教員を支援する。業務が、研究内容の構築と実践に係る調整・連絡、校外機関との連携・調整、広報活動等多岐に渡るため、令和5年度に新たな分掌として位置づけることで、機能的・効率的に研究を進めることができるよう計画している。

③ 世紀の空経理部門

事業全般の経理を担当

④ 世紀の空推進実行委員会

事業全般の検討と職員間の連絡調整

⑤ 拡大世紀の空推進企画委員会

教育課程についての研究

以上、学校長の下で、事業全般の進捗管理を行い、定期的な確認や成果の検証・評価等を通じ、計画・方法を改善している。

【コンソーシアムの体制および取組】

(構成員)

○公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

令和4年度は、クラス内発表会（2学年）での講評・助言を行った。

令和5年度は、海外との交流・発信における指導・助言を依頼する予定である。

○和歌山大学

令和4年度は、校内発表会での講評・助言を行った。

令和5年度は、SDGs講演と生徒への指導・助言を依頼する予定である。

○JICA

令和4年度は、SDGs課題学習における生徒への講演・指導、クラス内発表会（2学年）での講評・助言、校内発表会での講評・助言を行った。

令和5年度は、継続的な連携を強化する予定である。

○認定NPO法人 日越関西友好協会

令和4年度は、海外との交流、発信における指導・助言を計画していたが、実

施できなかった。

令和5年度は、海外との交流・発信における指導・助言を依頼する予定である。

○橋本市役所

令和4年度は、校内発表会での講評・助言を行った。

令和5年度は、校外活動への取り組みにおいて連携を強化する予定である。

○大阪観光大学

令和4年度は、中間発表時における留学生との意見交流指導、海外発信における指導・助言を行った。

令和5年度は、留学生との意見交流を学年全体に拡大して実施する予定である。

○株式会社 JTB

令和4年度は、SDGs 課題学習における生徒への講演を行った。

令和5年度は、校外活動への取り組みにおいて連携を強化する予定である。

令和4年度は、コンソーシアムの構成員による講演や指導助言をいただき、探究活動の基本的なスキルの習得や多角的視点をもつための取り組みを行った。

令和5年度は、多角的、複合的視点からの考察に基づく課題発表の実践力育成や、総合的な探究の時間や各教科等の相互の関わりを意識したカリキュラム・マネジメントの充実に向けて、高等教育機関、研究機関などの外部機関との連携を強化していく。

【コーディネーターの配置および活動内容】

本校では、コーディネーターを2名配置している。主となる1名は、本事業に関わる様々な業務を委託しており、年間通して1回5時間で週2回の勤務であり、もう1名は語学での補助を目的としており、海外発信を行う1月～3月の期間に1回4時間で週1回の勤務である。主コーディネーターは、これまで本校が取り組んできた総合的な探究の時間の内容や本事業の経過・内容、事前事後の指導計画や生徒感想文等、様々なことを把握した上で、担当者や関係者と検討を始めた。今年度については、事業計画に沿って進めるには時間的に限られていたため、取組を進める上で難しいことも多かったが、次年度も見通しながら協議を進めた。

具体的には、高校1年生の世界遺産高野山フィールドワークや高校2年生の株式会社スマイリーアースへの企業訪問の実施後の生徒の意識や考え方の変化を踏まえ、担当者や関係者と熟議し、3学期に向けての取組を再構築した。さらに今までの取組を踏まえながら、海外への発信や他府県・海外とのオンライン交流を計画し、語学力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力・ディスカッション能力等の向上を図った。海外発信に関しては、ホームページに英語で研究内容を掲載し、各方面にコメントを求めた上で次年度に行かす予定である。また、国内・海外とのオンライン交流に関しては、関係機関を通じ、今年度中に実施することになっている。

また、これまでのSDGsの研究発表会や地域の課題発見・研究に関する橋本市長に対するプレゼンテーションなどについても、取組と成果を地域や多方面に対して広報する活動も計画している。

課題としては、コーディネーターが担当者や関係者と協議している内容について、全職員の共通理解を図る効果的な方策の検討、また、現在は担当者が行っている校内調整等のコーディネーターへの委託等、コーディネーター業務の精選が必要である。さらに、今年度は、コンソーシアムとの連携についても、JICA・大阪観光大学などの事業における位置づけを明確にし、協働体制のあり方についても、コーディネーターを中心に検討する必要がある。

○管理機関による事業の実施体制や管理方法

(1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営指導委員会									1回		1回	1回
管理機関訪問	1回		2回									

(2) 実績の説明

令和4年度は運営指導委員会で3回、それ以外に3回の計6回、学校を訪問し、事業の内容や進捗状況について把握し、指導助言を行った。また、訪問していない月においても、ほぼ毎週、現在の状況や今後の計画について、電話やメールにより学校側の担当者と協議を行った。

世界遺産高野山

～高野山の魅力を学習しよう～



和歌山県立橋本高等学校 1年 組 番 氏名：

はじめに

「紀伊山地の霊場と参詣道」は皆さんが生まれる少し前の2004年7月にユネスコの世界遺産に登録されました。奈良県・三重県を含む紀伊山地全体を含み、3つある霊場のうち1つは和歌山県の「高野山」です。1000m級の山々に囲まれた盆地に広がる町並みは多くの人を魅了し、コロナ禍前には高野山を訪れる外国人観光客を橋本駅でも多く見かけました。人々は高野山の何に魅力を感じ、何を求めて訪れるのでしょうか。

今回、1年生では皆で高野山を訪れます。高野山の歴史・文化を学び、実際に自分の目で確かめて、なぜこの地域が世界遺産に登録されたのかを知ってください。そして、世界遺産の価値や魅力を多くの人に知ってもらうためには何が必要か、自分で考え伝えられる機会にしてください。

目次

- (1) 世界遺産とは何だろう
- (2) 紀伊山地の霊場と参詣道
- (3) 高野山について
- (4) 会話文から読み取ってみよう
- (5) 高野山の現状を資料から読み取ってみよう
- (6) 事前学習を通して

(1) 世界遺産とは何だろう

①人類共通の財産

世界遺産は1972年のユネスコ総会において採択され、1975年に発効された世界遺産条約（「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」：日本1992年締結）に基づいて世界遺産リストに登録された「顕著な普遍的価値」をもつ物件のことを言います。「顕著な普遍的価値」は、どの国や地域の人でも、いつの時代のどの世代の人でも、どのような信仰や価値観を持つ人でも、同じように素晴らしいと感じる価値の事で、そうした価値をもつ世界遺産は、人類共通の財産として未来の人々へ大切に引き継がれていかなければなりません。人類共通の財産といえます。

世界遺産には文化遺産、自然遺産、この2つの性格を合わせ持った複合遺産があります。

2021年7月現在、文化遺産897 自然遺産218 複合遺産39が登録されています。

世界遺産としての「顕著な普遍的価値」が危機に直面している遺産は危機遺産リストに記載され、世界遺産条約加盟国の協力を得ながら、危機を取り除く努力がなされます。戦争や紛争による遺産破壊、密漁や不法伐採などの自然破壊、地震などの自然災害、過度の観光地化や都市開発などが原因として考えられています。世界遺産としての「顕著な普遍的価値」が失われたと判断された場合は世界遺産リストから削除されることもあります。

○「顕著な普遍的価値」とは何だろう（文章を読み取って、まとめてみよう）

*文章中にあるわからない言葉を調べてみよう

世界遺産の登録基準（公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 HP）

世界遺産リストに登録されるためには、「世界遺産条約履行のための作業指針」で示されている下記の登録基準のいずれか1つ以上に合致するとともに、真実性(オーセンティシティ)や完全性(インテグリティ)の条件を満たし、締約国の国内法によって、適切な保護管理体制がとられていることが必要です。

- (i)人間の創造的才能を表す傑作である。
- (ii)建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
- (iii)現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在(少なくとも希有な存在)である。
- (iv)歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
- (v)あるひとつの文化(または複数の文化)を特徴づけるような伝統的居住形態若しくは陸上・海上の土地利用形態を代表する顕著な見本である。又は、人類と環境とのふれあいを代表する顕著な見本である(特に不可逆的な変化によりその存続が危ぶまれているもの)
- (vi)顕著な普遍的価値を有する出来事(行事)、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある(この基準は他の基準とあわせて用いられることが望ましい)。
- (vii)最上級の自然現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。
- (viii)生命進化の記録や、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形学的又は自然地理学的特徴といった、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
- (ix)陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動物植物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。
- (x)学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息地内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。

※なお、世界遺産の登録基準は、2005年2月1日まで文化遺産と自然遺産についてそれぞれ定められていましたが、同年2月2日から上記のとおり文化遺産と自然遺産が統合された新しい登録基準に変更されました。文化遺産、自然遺産、複合遺産の区分については、上記基準(i)～(vi)で登録された物件は文化遺産、(vii)～(x)で登録された物件は自然遺産、文化遺産と自然遺産の両方の基準で登録されたものは複合遺産とします。

○「紀伊山地の霊場と参詣道」はどの基準に当てはまっていると思いますか
予想

調べた結果

思うこと



〔19〕明治日本の産業革命遺産 構成資産は、岩手、静岡、山口、福岡、熊本、佐賀、長崎、鹿児島県の8県に所在。

⑩	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	鹿児島県・沖縄県	令和3年	自然
⑪	北海道・北東北の縄文遺跡群	北海道・青森県・岩手県・秋田県	令和3年	文化

○日本の世界遺産で行ってみたいところを1つあげて、調べてみよう

行ってみたい世界遺産 ()

行ってみたい理由

調べたこと

(2) 紀伊山地の霊場と参詣道 (わかやま文化財ガイド HP 福本市HP参照)

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、2004年7月7日、ユネスコの第28回世界遺産委員会で登録されました。推薦当初の名前は「紀伊山地の霊場と参詣道および周囲の文化的景観」といい、少し長すぎるとして「紀伊山地の霊場と参詣道」となりましたが、「周囲の文化的景観」という言葉がつかれたのが、特長をよく表しています。

①特長は「文化的景観」

「文化的景観」というのは、世界遺産委員会における評価が近年一段と高くなってきている領域の一つですが、わかりやすくいえば「人間の様々な営みと自然が一体となって形づくられた特別な意味のある景観」のことです。

「紀伊山地の霊場と参詣道」の場合は、「山や森などの自然を神仏の宿る所とする信仰が形づくった景観」の代表例として、高く評価されています。

②「紀伊山地の霊場と参詣道」の全体を知ろう

古代から奈良や京都に住む人々は、紀の川(吉野川)から南の紀伊山地全体を、神々がこもり、仏が宿る聖域と考えてきました。それは、紀伊山地が都から見て太陽の光が差す南の角に、太平洋に突き出た形で位置し、年間3,000mmに達する降雨が限しい山岳地形を形成して、人々が立ち入ることを容易に許さなかったうえ、山や岩、森や樹木、川や滝など、信仰心を呼び起こす特徴的な自然の景物に恵まれていたことによります。

したがって、「紀伊山地の霊場と参詣道」に含まれる霊場と参詣道は、地図に示したように、和歌山県・三重県・奈良県・京都府・兵庫県と三つの府県にまたがって、一つの世界遺産となっています。

さらに、紀伊山地の三つの霊場すなわち「吉野・大峰」、「熊野三山」、「高野山」は、それぞれ「修験道」、「熊野信仰」、「真言密教」という宗教の日本を代表する霊場で、その影響は京都を始め全国に及んで、日本人の精神的・文化的な発展と交流に極めて重要な役割を果たしてきました。

そうした歴史を反映して、「紀伊山地の霊場と参詣道」には、国宝4件、重要文化財23件の建造物をはじめ、史跡7件、史跡・名勝1件、名勝1件、名勝・天然記念物1件、天然記念物4件、合計41件にのぼる多種多様な文化財が含まれています。また、和歌山・奈良・三重の三県にまたがる資産の面積も495.3haと広大で、さらにその周囲に保護のために設けられた緩衝地帯11,370haを合計すると11,865.3haに及び、川筋(御影川)や御影線(上里線(しちりみはし))をも含む参詣道の総延長は307.6kmに達しています。

ただし、世界遺産の構成資産である文化財の多さや面積の広さだけに意味があるというのではなく、むしろそれらが生み出されるうえで根本的な要因となった紀伊山地の神秘的な自然と一体となり、万物の生成を司る自然を神とし仏として畏れ敬う精神を表しているところが重要で、そのような特長を備えた世界遺産は他にありません。

また、そうした精神が、日本古来の神々への信仰とインドから中国・朝鮮を介して日本に伝来した仏教を結びつけ、「神仏習合」という日本固有の思想を生み出したことも、東アジアにおける文化交流の証しとして高く評価されています。

その後の調査により、登録された以外にも良好な保存状態の参詣道等の存在することが明らかとなり、和歌山県下の参詣道について平成28年10月24日追加登録されました。

- 【構成資産】
1. 吉野・大峰(霊場) 吉野山・吉野水分神社・金峯神社・金峯山寺・吉水神社・大峰山寺
 2. 熊野三山(霊場) 熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社・青岸渡寺・那智大滝・那智原始林・補陀落山寺
 3. 高野山(霊場) 丹生都比売神社・金剛峯寺・慈尊院・丹生官省符神社
 4. 参詣道 大峯奥駈道 熊野参詣道(中辺路・小辺路・大辺路・伊勢路) 高野参詣道(町石道・三谷坂・京大坂道不動坂・黒河道・女人道)

【地図】



【文化的景観 (和歌山県世界遺産センターHPより)】

「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録に向け、キーワードとなったのが「文化的景観」です。その意味するところは「自然と人間の営みによって形成された景観」というもので、一般的な枠組みを超えた、幅広い内容を含んでいます。

紀伊山地の霊場もその一例で、古くから神々が宿る所として崇拝されてきた山々が、新しく渡来した仏教の影響のもと、宇智代自然の間にその神仏両方の力を集めるために「神仏習合の場」となりました。

同様に参詣道も、そこを徒歩で進み自然との接触を重ねること自体が、すでに修行でした。

つまり「紀伊山地の霊場と参詣道」は、単なる社寺と道ではなく、あくまで「山岳信仰の霊場と山岳参詣道」なのです。これらの「文化的景観」を守っていくためには、単に神社や仏閣など文化財として指定されているものを保存すればよいというのではなく、基盤となっている自然もまた良好な状態で維持する必要があります。

「紀伊山地の霊場と参詣道」は神仏の宿る紀伊山地の自然を基盤とするだけに、世界遺産の周囲の山や森をくみで保護することが大切ですが、他の世界遺産よりも圧倒的に広い範囲を守り国際社会の一員としての責務を果たすためには、仕事として世界遺産の保護に携わる限られた人たちだけでなく、みなさんも含めた多くの人々が守る心を持ちつづける必要があります。

○「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産としての魅力は何か文章を読んでまとめてみよう

○文化的景観とは何か、まとめてみよう

○調べてみよう

【神仏習合】

【修験道】

【熊野三山・熊野信仰】

【密教】

(3) 高野山について

①高野山(霊場)・高野山参詣道(文化庁HP 橋本市HP 参照)

高野山は弘仁7年(816)空海(弘法大師)によって開かれた霊場です。山内には大塔・金堂・御影堂などが建つ壇上伽藍のほか、空海の廟所の奥之院があって、今日も多くの参詣客で賑わっています。この高野山へ通じる参詣道には、かつての山谷を越えて高野山へ登る旅人の信仰の跡が参詣道の各所に残されています。

高野山は八葉の峰と呼ばれる外周の山々に囲まれた山中の盆地状の地形となっており、高野参詣にはこれらの外周の山を越えて山内に入って行きました。山内へは各地から道が通じていて、いつの頃からか一般に高野七口と呼ばれる入口が定まり、それぞれの口には女人堂(にょにんどう)が建立され女人禁制とされた高野山内への女性の入山を拒んでいました。

高野七口について、江戸時代後期に編纂された『紀伊国名所図会』には大門口・不動坂口・大瀧口・龍神口・大峰口・黒河口(くろこぐち)・相浦口(あいのうらぐち)の七口が挙げられています。これらの高野七口が高野山内への入口を指す名称ですが、それがその口に至る道を含んだ意味でも取られるようになります。

南北朝時代の史料に聖道(町石道)に関所が置かれ、不動坂は通行止めされていたことが見え、参詣道として最も古い町石道のほか不動坂(口)がこの頃には存在していたことが明らかとなっています。その後、次第に参詣道が整備され、天正・文禄年間(1573-1595)から高野七口という呼称も史料にあらわれ始めます。しかし、各口の名称や位置には時期や目的などによって変化があり、かならずしも一定しなかったようです。現在のかたちには定まったの遺り(後期)とみられます。

高野山の外周である八葉の峰の尾根筋に沿って、各女人堂を結ぶ道も開かれます。高野山内と外界を分ける道であることから「結界道(けっかいみち)」と呼ばれました。また、高野山を目指した女性が女人禁制の高野山内を拝するために巡ったとも伝えられ、「女人道」とも呼ばれました。

【高野参詣道黒河道(くろごみち)】-橋本市の世界遺産(橋本市観光協会HPより)】

黒河道は高野七口の一つ黒河口に至る高野参詣道で、橋本市寶堂(かしこどう)から因城山(くにぎさん)東麓の明神が田和を越え、藁谷(わらんだに)から九度山町の市平で丹生川を渡り、久保から高野町の粉糠峠(こつくとうげ・子羅峠)を越え、高野山内の千手院谷に入る登山道です。橋本から高野山への参詣道とされ、また、大和国(奈良県)への参詣によく利用されたことから大和口とも呼ばれました。

『高野春秋編年輯録』の天正9年(1581)の記事には「大和口」と見え、同じく正保元年(1644)の記事には「大和口又号粉糠峠口」と記載され、さらに江戸時代後期に編纂された『紀伊国名所図会』には「黒河口 或は大和口ともいふ」と記されていて、中世末期には大和口と呼ばれていたものが、江戸時代後期になって黒河道の呼称が用いられるようになったと考えられます。

道が険しいことから、多くの参詣客は黒河道の西方を並行する京大坂道を利用したようですが、黒河道は文禄3年(1594)の豊臣秀吉の高野参詣の帰途に用いたと言われ、そのルートが『紀伊統風土記』に見えます。高野山周辺では、地域の産物を高野山へ奉納する「雑事(ぞうじ)のぼり」にも利用されたとみられ、物資の輸送にも用いられたものと推定されています。

黒河道の具体的な経路については前に記す『紀伊統風土記』以外に明確な資料は見当たらず、このルートが復元されて、平成27年10月、国の史跡に指定されました。さらに、平成28年10月、黒河道は高野参詣道の一つとして世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録されました。

○高野山 高野山観光協会 和歌山県公式観光サイト 橋本市のHPを参考に調べてみよう

① 空海について

② 真言宗について

[高野山全体について観光マップ等を参考に調べてみよう]

③ 金剛峯寺について

④ 大伽藍について [壇上伽藍、根本大塔など]

⑤ 奥之院について

*どんな人のお墓があるかな? なぜ大名たちは高野山にお墓を立てたのだろうか?

⑥高野山でここに行ってみたいと思う場所を探してみよう、その理由も答えよう

次の会話を読んで、後の設問に答えよ。

Aさん 「いよいよ高野山に行く日が近づいてきたね。事前学習ははじりだ。早く行きたいな。」

Bさん 「僕、高野山だから、ちよつとな……。せっかくなの遠足だったらユニバに行きたかったよ。」

Cさん 「僕、高野山に行くから、学校に行くからバスで自分の家の前を通るのはなんか損した気分だわ。」

Dさん 「え、笠田から登るの？私には高野山に行く時は九度山を通って行ったから、ものすごく細い道で車酔いしてしまったよ。高野山へ行く道っていろいろあるのね。」

Eさん 「そういえば橋本には高野山中学校出身の人は電車に乗るよね。どのくらい時間がかるの？」

Aさん 「そんなにかるんだ。校外学習の日にはバスで奥の院まで行くからいいけれど、①観光バス以外の方法で行くとしたら、どうやって奥の院まで行くんだろ？」

Bさん 「まあでも昔に比べて便利になったよ。高野七口と呼ばれる参詣道があって、どれも徒歩で高野山まで登って行く道なんだ。選んでいる僕でもきついな。」

Cさん 「知っているわ。私は参詣道から大門までの②町石道を使ったことがあるの。険しい道を行って行くけれど、清らかな空気が流れているように感じられたのよ。思い出に残っているわ。」

Dさん 「平成二十八年に世界遺産に追加された黒河道もそうだな。豊臣秀吉もこのルートを通ったことがあったらしいよ。歴史上の人物も高野山を訪れていたことは知っていたけれど、着てきた道はあまり考えたことがなかったな。」

Eさん 「せっかくなの遠足だから、着てきた道は考えて、着てきた道も楽しんでほしいな。観光ついでなんだから、周辺の地域の事情も知れないと、その地域について理解できたりはしないよ。」

Aさん 「事前学習の冊子はやり終えたけれど、自分でもっと高野山について調べてみようかな。」

Dさん 「近くに住んでいるから、知らないことがあるかもしれないね。遠足が楽しくなってきたわ。」

その交通手段を選択した理由

理由を記入する欄

①の内容

理由を記入する表

例 私は橋本市古佐田の自宅から徒歩で橋本駅へ行き、観光列車(天宮)を利用して橋本から高野山までは「ブルーカイ」に乗ります。風車を車内から楽しむことはもちろん、鉄道好きの私にとって二種類の特別列車に乗ることができるとは嬉しいですね。高野山駅からバスで金剛峯寺に行くと、徒歩で奥の院に向かいます。短い距離でも、歩くことで高野山を参詣した人々の喜びや苦辛を感じたと考えています。

問二 誘致部分であるが、あなたは高野山を初めて訪れる外国人観光客に「町石道」について説明することになった。あなたはどのような情報を伝えるか答えて。

条件1 町石道がどのような道であるのかを説明すること。
条件2 なぜその情報を伝えるのか、ねらいを明確にすること。

町石道とはどのような道か(言葉)

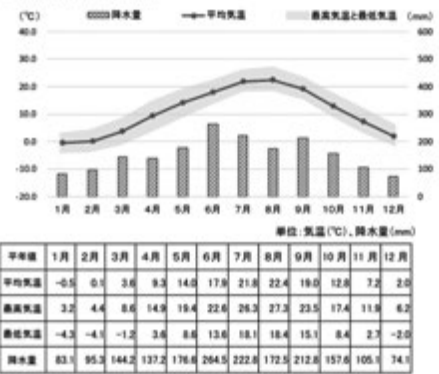
なぜそれを外国人観光客に説明するのかわらぬ(理由)

伝えるべき情報の整理 ※町石道に特化して

(5) 高野山の現状を資料から読みとってみよう。

①高野山の年間降水量と気温推移

■降水量と気温の月別推移



資料：気象庁気象統計情報

上の資料から読み取れることは何だろう。その理由も考えてみよう。

②高野町の就業人数

労働力人口	2,060人 (順位: 1553位)
就業人数	1,989人 (順位: 1549位)
完全失業者数	71人 (順位: 1604位)
第1次産業就業人数	99人 (順位: 1642位)
第2次産業就業人数	269人 (順位: 1617位)
第3次産業就業人数	1,617人 (順位: 1426位)
雇用者数	1,329人 (順位: 1546位)
役員数	149人 (順位: 1375位)

上の資料から読み取れることは何だろう。その理由も考えてみよう。



③高野山・白浜・橋本市周辺の観光客推計

1. 主要観光地別観光客数推計総量

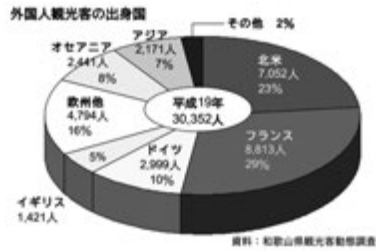
観光地名称	観光客数				うち外国人			
	2016年	2017年	2018年	2019年	2016年	2017年	2018年	2019年
高野山	1,010,000	1,010,000	1,010,000	1,010,000	100,000	100,000	100,000	100,000
白浜	500,000	500,000	500,000	500,000	50,000	50,000	50,000	50,000
橋本市	300,000	300,000	300,000	300,000	30,000	30,000	30,000	30,000
計	1,810,000	1,810,000	1,810,000	1,810,000	180,000	180,000	180,000	180,000

2. 主要観光地別観光客数推計

観光地名称	観光客数				うち外国人			
	2016年	2017年	2018年	2019年	2016年	2017年	2018年	2019年
高野山	1,010,000	1,010,000	1,010,000	1,010,000	100,000	100,000	100,000	100,000
白浜	500,000	500,000	500,000	500,000	50,000	50,000	50,000	50,000
橋本市	300,000	300,000	300,000	300,000	30,000	30,000	30,000	30,000
計	1,810,000	1,810,000	1,810,000	1,810,000	180,000	180,000	180,000	180,000

上の資料から読み取れることは何だろう。その理由も考えてみよう。

④高野山を訪れる外国人(国・地域別)



上の資料から読み取れることは何だろう。その理由も考えてみよう。

(6)事前学習を通して、あなたは高野山の何に魅力を感じましたか。自分の目で確かめてみたいことは何ですか。

実際に行って確かめてみよう！



総合的な探究

2022年9月9日

アンケート・インタビューの質問を考え作ってみよう。

アンケート・インタビューの対象は市役所の担当部署・または市役所の担当から紹介、連絡していただいた人になります。

①質問をするときに

誰に

人数はどれくらい

○多いと・・・たくさんの人の考え・意見が反映された結果になる
▲集計するのが大変

▲少ないと・・・一部の人の考え・意見になってしまう
○集計するのが簡単
なぜ、その質問をしたのか

どんな風に聞くか

○×式 選択式(選択肢を考える) 記述式 など

②予め結果を予想して質問を作る

答えやすいかどうか

何を答えたらよいか漠然とした質問になっていないか。

答えにくい質問になっていないか。

個人的な情報になりすぎているか。

できるだけ具体的に

③アンケート・インタビューをお願いする文を考えよう。

一人一台パソコンで作ってみよう。

☆話し合った結果をもとに班で質問を作り、アンケート・インタビューをしてみよう。

☆先生に市役所の人に連絡をお願いします。

インタビューをするときに

①自分の名前を言う

例 橋本高校1年生の○○といいます。

(誰かわからない人に突然質問されても困ります。)

②相手の都合を尋ねよう

例 今、お時間よろしいですか？

(相手の人が急いでいて時間が無いときもあります。)

③目的を伝えよう

例 探究という勉強で、地域のことについて調べています。

いくつか質問に答えて頂けますか？

④質問事項はメモしておこう

⑤ゆっくり・ハッキリ・いいねいに・大きな声で

(相手が聞き取りやすいようにしましょう。)

⑥最後に感謝の気持ちを伝えよう

例 ありがとうございます。

アンケートをするときに

①誰に対して・目的・質問内容をはっきりさせる

②挨拶文を考える

例 橋本高校1年生で探究という授業で○○について勉強をしています。△

△についてアンケートをお願いします。いただいた情報は授業にだけ使

わせていただきます。

③答えやすい質問を考える

例 Yes・No 選択肢は少なく

④質問用紙は読みやすく丁寧な字で

⑤質問する順番を決める(質問の流れを考える)

その他

Faxで質問する。メールで質問する。電話で質問する。



総合的な探究の時間でクリティカルシンキングやラテラルシンキングを使って考えてみよう。
市役所の担当者の方々に聞いた説明をもとに、課題を見つけ、どのような解決方法があるか提案するために

1. 施策提言のためにどのようにクリティカルシンキングを行うのかを明確にする。

具体的には「何を」「どのように」「どのくらい」を考える。とくに「どのくらい」は、数値もしくは客観的に把握できる状態であることが望ましい。

「なぜこの施策提言をしたのか？」を明確にしておくこと。

2. 現状を正確に把握する。

現在の状況を示す情報に対して「事実か?」「数値で表すと?」「本当に?」「他にはないのか?」などクリティカルシンキングを用いよう。

3. ゴールと現状の差を埋めるための課題を洗い出す。

1で設定した具体的なゴールと、2で明らかにした現状にはどのような差があるのかを確認する。そして差を埋めるためには「何をすべきか(課題)」を洗い出す。

「数値で表すと?」「本当に?」「他にはないのか?」などクリティカルシンキングを使う。

4. 洗い出した課題を解決するための計画を立てる。

「どうやって」を具体的に計画しましょう。

また計画を立てる際、立てた後、そして実行中も「本当にこれで施策として有効か?」を常に問い続けよう。こだわりや偏見、思い込みなどはその人の思考に大きな影響を与えています。これらを「考え方のくせ」として認識し、そのことを念頭に置いてより客観的な思考をすることがクリティカルシンキングには必要になります。

新しい環境の枠にとらわれない、自由な発想で施策提言をしよう。

《クリティカルシンキング》とは

ある考えについて与えられた情報をうのみにせず、前提となる事実を明らかにしながら、自分の考え方のくせや、主観にとらわれることなく多角的・論理的に考える思考法

例1 次の考え方が正しいか、また、間違っている場合はどこが論理的におかしいか説明してみよう。

朝食にパンを食べる人は罪を犯しやすい。アメリカで罪を犯し、逮捕される人の90%が朝食にパンを食べている。



例2 或る小学校のクラスで遠足に持っていくお菓子の値段のアンケートをとった。

500円 15人 2500円 1人 3000円 1人 5000円 1人

このとき遠足に持っていくお菓子の値段を平均値の1000円とするのは適当か。



例3 次の発言の誤りを具体的に指摘しなさい。

「新しく高校生活を始めるにあたり、まず、言っておかなくてはいけないことがある。君たちの学習時間は少ししかない。睡眠時間を8時間とすると、1年の三分の一にあたる122日を差し引くことになる。次に、毎日の食事三時間を合計し年45日を引く。日曜日を休息日にすると年間68日、さらに、夏休み、冬休み、春休みで75日となると、残りは55日しかない。それで、睡眠時間を削り、食事をする間も惜しんで、日曜祝日もなく、夏、冬、春休み返上で勉強しなければならない」

例4 以下の問題に対する解決策を最低10個あげなさい。

「あなたはビルのオーナー。10階建てのビルにはエレベーターが1基設置されているのみ。エレベーターは古く速度も遅いため、待ち時間が長くなってしまい利用者の不満が募っている。この不満を和らげるにはどうすればよいだろうか。」



《ラテラルシンキング》とは

問題解決のために既成の理論や概念にとらわれず、アイデアを生み出す方法のこと

例1 13個のオレンジを3人の子どもに公平に分ける方法を考えよう。



世界遺産高野山



～高野山の魅力を確認しよう～



和歌山県立橋本高等学校 1年 組 番 氏名：

はじめに

事前学習「世界遺産高野山の魅力を調べる」を通して、皆さんには多くの学びがあったと思います。身近な場所であっても調べてみると、初めて知ること・気づくことは多いものです。世界遺産高野山の知識を得たことで、あらためてその価値に気づき、興味関心に繋がったのではないのでしょうか。

今回、高野山を皆で訪れる目的は、「高野山の魅力を自分の目で確かめる」です。現地での学習では、実際に自分が感じたこと、学んだことを大切にしてください。本物に触れ、直接見て、確かめることで分かることはたくさんあります。漠然と捉えていたことが、深い理解に繋がるでしょう。事前学習で得た知識をもとに、ねらいを明確にして取り組んでください。説得力をもって世界遺産高野山の魅力を伝えるためにも、主体的に学習し有意義なものにしましょう。

目次

- (1) 講義
- (2) 奥の院
- (3) 檀上加藍
- (4) 精進料理
- (5) インタビューしよう
- (6) 高野山を訪れて
- (7) 地図・当日のスケジュール

(1) 世界遺産高野山について 高野山大学 山口文章先生

題目「 」

◎山口先生の話聞いて、わかったこと、感じたことをメモしよう。

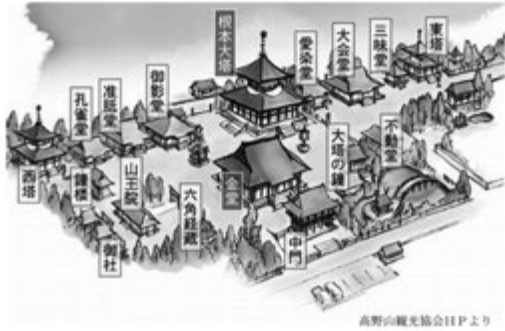


(2) 奥の院

奥の院の参道にはいろいろな武将のお墓や句碑があります。企業のお墓もあります。案内の方の説明を聞いてメモしよう。知らない武将の名前は後で調べておいてください。



(3) 壇上加藍 *根本大塔は入館できます！



下記の学習ポイントで気づいたこと・感じたこと・考えたことなどを書いておこう
○根本大塔（内部拝観しましょう・曼荼羅）

- 三結の松（三葉見つかるかな）
- 六角経蔵（みんなでそ〜っと回してみよう）
- 御社（狛犬に注目）
- その他

(4) 精進料理

①精進料理を食べてわかったこと、感じたことを書こう。

②精進料理とは何かを調べよう。



《精進料理メニュー》

塩こうじ小胡瓜・金山寺みそ・大根しょうゆ漬け・ごま豆腐・畑（大豆のお肉）・高野つくね・高野豆腐・昆布／ほっかい巻・がんも・梅午房・山きくらげ・精進出汁・かやくご飯

(5) 資料から読み取ったことを高野町の方にインタビューして確認しよう。
インタビューに答えてくださった方「 _____ 」

①コロナ禍前と比較して（観光・生活など）
違い

変わらないこと

②高野山の気候や地形が生活・文化にどう影響を与えていますか。

③高野山のおすすめスポットを教えてください。



(6) 高野山を訪れて、あなたは何が魅力であると感じましたか。



(7) 高野山の魅力をアジアの人知ってもらうためにはどのようなことができるでしょうか。
あなたができることややってみたいことを具体的に考えてみましょう。

バスの座席表

※自分の座った席をメモしておきましょう

乗降口			運転席	
1-A	1-B		1-D	1-E
2-A	2-B		2-D	2-E
3-A	3-B		3-D	3-E
4-A	4-B		4-D	4-E
5-A	5-B		5-D	5-E
6-A	6-B		6-D	6-E
7-A	7-B		7-D	7-E
8-A	8-B		8-D	8-E
9-A	9-B		9-D	9-E
10-A	10-B		10-D	10-E
11-A	11-B		11-D	11-E
12-A	12-B	12-C	12-D	12-E

【日時】…10月6日(木)

【集 合】…8:00 橋本高校内北門付近(グラウンド北側)

【解 散】…16:50(予定)

【服 装】…動きやすい服装・靴・靴

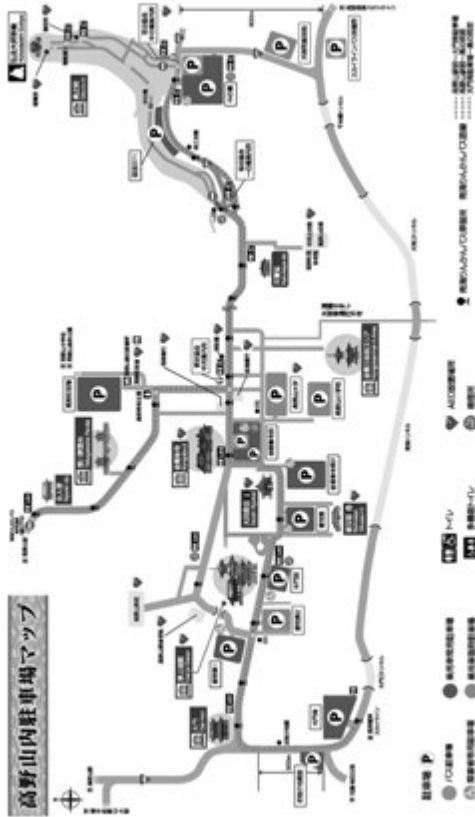
【持ち物】…冊子、探究ファイル、筆記用具、一人一台パソコン、雨具、薬(必要なら)

時間厳守!



【日程】

	9:30	
	↓	
	10:45	高野山大学講義 (山口文章先生)
	↓	
I 班 (B, E)	11:00	精進料理体験 (一の橋観光センター)
	↓	
	12:00	(集合場所:一の橋) ← B組:12:10 E組:12:15
	↓	
	12:10	奥の院~中の橋
	↓	
	14:30	(集合場所:中の橋駐車場)
	↓	
	14:40	壇上伽藍・高野山内散策
	↓	
	15:50	(集合場所:金剛峯寺前駐車場)
	↓	
	16:50	解散
	↓	
II 班 (A, C, D)	11:00	壇上伽藍・高野山内散策
	↓	
	12:10	(集合場所:高野山大学駐車場)
	↓	
	12:20	精進料理体験 (一の橋観光センター)
	↓	
	13:10	(集合場所:一の橋) ← C組:13:20 D組:13:25 A組:13:30
	↓	
	13:20	奥の院~中の橋
	↓	
	15:50	(集合場所:中の橋駐車場)
	↓	
	16:50	解散



写真撮影について

はじめに

デジタルカメラ、スマートフォン、タブレット等の普及に伴い写真「撮影」することの敷居は昔に比べかなり低くなっています。一方、写真や撮影する行為自体が原因となるトラブルも増加しています。今後、総合的な探求の時間の活動において「資料・記録用の写真」、「発表用の写真」など様々な写真を撮影する必要が出てくると思います。その時のためにマナーやルールをきちんと確認しておきましょう。

1. 写真を撮る際のマナーに気を付けましょう

・撮影の際、写真に写りこむ人に注意

人が偶然映り込んでしまった写真を公開し、それが原因でトラブルとなるケースが多発しています。Google map のストリートビューで人などがぼかされているのも同じ理由です。相手の了承を得ずに撮影し、その写真を発表などで公開すると「肖像権」などの侵害となります。

・周囲の人に気配りを忘れない

写真を撮っているとき通行人が前を横切つてなかなか撮影できない・・・という事はよく起こります。もちろん撮影のためのポイントであれば通行人側の配慮が足りないかもしれませんが、多くの場合は普通の場所での撮影だと思います。その様な公共の場所で「写真を撮っているからジャマ!!」と言って周りの人に文句を言うのはやはり失礼です。

また、カメラなどを構えている人は周囲の人の目にはどう映るかも意識しておきましょう。知らない人にカメラを向けられるのはやはり嫌な気持ちになると思います。観光地など人の多い場所では特に注意しましょう。

写真・撮影についてのマナーを簡単に書かせてもらいましたが、一方でカメラを構えていると気が止まってくれる人もたくさんいます。結局のところお互いに嫌な気持ちにならないよう行動することが重要です。

2. 写真を撮るときに気を付けるルール

・入ってはいけない場所入らない

少し道を外れて歩いていると私有地に入ってしまったという事例や、最近では撮影の際に撮影者が庭から伸びている木の枝を折ったという事例もあります。それぞれ不法侵入や器物破損といった罪に当たる行為です。また、旅館などの庭での撮影も施設の利用者のみとなっている場合も多いです。気になったら先に確認し、事情をきちんと説明できるようにしておきましょう。

・写真撮影が禁止されている場所があることを忘れない

写真撮影禁止の場所も多くあります。博物館の館内や、工場での機械など情報漏洩などを防ぐため写真撮影が禁止されている場合があります。また、今回訪れる高野山を始め、宗教的な理由から撮影禁止となっている場所も多く存在します。高野山では御願橋より奥のエリアは神聖な場所として撮影禁止となっています。ほかにも多くの神社、お寺の内部は撮影禁止となっていることが多いです。そのような場所には「撮影禁止」という表示がありますので撮影の前に周囲確認しましょう。場合によっては入り口に「ここから先は禁止」となっている場合もありますので注意書きなどは見落とさないように心がけることが大切です。

高野山における撮影禁止エリア

※ HP などで表記されている特に有名なエリアと場所です。個々の施設や庭などについては確認したうえで撮影しましょう

・御廟橋より奥のエリア



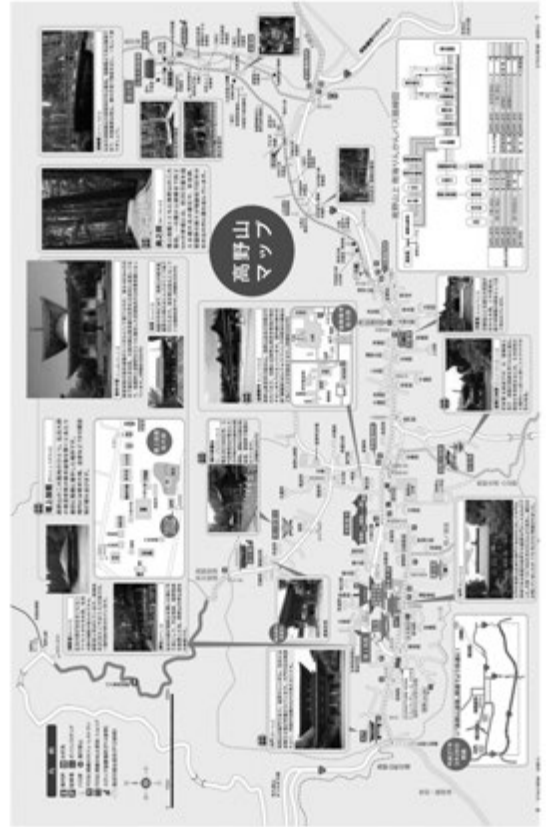
← ガイドさん付きで見学する場所の一番奥になります。

※引用：高野山の観光 MAP の一部を拡大

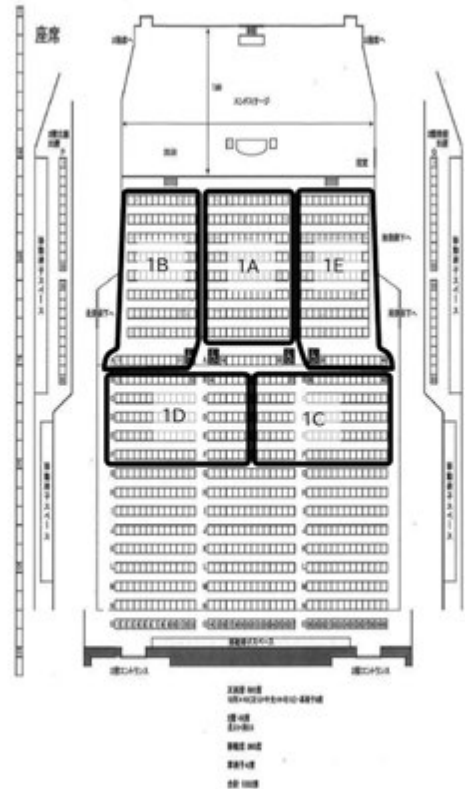
・伽藍の金堂・根本大塔の内部



他の建物も内部は撮影禁止となっている場合がありますので注意しましょう



高野山大学 黎明館 ※1 席ずつ空けて着席



7. 1 学年事業内容 ⑤県人会との国際交流

1 年人権 LHR(異文化理解)

「異文化理解」講演について (和歌山県国際課出前講座)

事業名：令和4年度オンライン国際交流事業「わかやま国際ネットワーク」

日時：令和4年10月13日(木) 13:05～13:50(45 分間)

場所：体育館

対象：高校1年生

ねらい：海外へ移住した和歌山県の先人たちの歴史を学ぶとともに、海外や異文化に対する理解を深める。また、下記の海外県人会とのオンライン交流を行うための事前学習とする。

講演タイトル：「和歌山と移民」

講師：和歌山県企画部企画政策局国際課 湯川香里氏

(話が 35 分程度、バーチャルホームステイの動画視聴が 10 分程度の予定)

【動画内容】

ロサンゼルス近郊のサウス・パサデナに住む Andrew さん(カリフォルニア大学ロサンゼルス校在学)がご自宅とご近所の様子を撮影してくれています。

生徒持参：筆記用具、メモ用紙

準備：PC、プロジェクター、講師パソコン持参(USBも持参してもらうよう依頼済み)

【交流の予定】

オンライン交流

日時：令和4年10月25日(火) 4限 (英語の授業)

場所：各 HR 教室 (全クラス英語の授業を充てる)

交流先：南加和歌山県人会(アメリカ・南カリフォルニア)

1年人権 LHR(異文化理解)

講演：「和歌山と移民」

講師：和歌山県企画部企画政策局国際課 湯川香里氏

日時：令和4年10月13日(木) 5限

場所：体育館

目的：海外へ移住した和歌山県の先人たちの歴史を学ぶとともに、海外や異文化に対する理解を深める。

オンライン交流：10/25(火) 4限

交流相手：南カリフォルニア県人会と橋本高校1年

感想(日本語で)

--

質問(英語で)

--

年 組 番 氏名

10/14(金)朝の SHR 担任へ提出

感想

A組

・このような貴重な体験の場を設けていただき、本当にありがとうございました。普段の生活では知ることのない異文化について、現地の人から話を聞くことができ、より理解することができました。英語をもっと勉強して、聞き取れるようになりたい。

・今回の交流でアメリカに興味を持った。

・いろいろな年齢の方が南加和歌山県人会に参加しているのがわかった。

・話を聞いて、知らないことや、日本と違う部分があって楽しかった。カリフォルニアに行きたくなった。

・聞き取れる単語や文章があり、ある程度話の内容が理解できた。

・県人会の方々が英語を使って話されているのを実際に聞いて、日常生活で使う言語や、ずんでいる国や文化が違う私たちと県人会の方々が「和歌山」というつながりて、このような交流をする機会を持てたことに本当に感動した。

・移民だからといって、差別されていた当時の社会に驚き、悲しみました。今は差別は減っているが、いつまた起こるかわからないので、私たちが移民についてもっと知るべきだと思った。

・いつも聞いているはっきりとしていて、ゆっくりな英語ではなく、自然な感じの英語での会話を聞いて新鮮だった。聞き取るのが難しかった。英語をすらすらと話せるようになりたいと思った。

B組

・すぐたくさんのことを深く話して下さったように感じました。自分たちが質問したことにも真剣に答えて下さったことが、すごく嬉しかったです。

・日本でも使われている英語(ペンやタイルなど)を聞き取るのが精一杯だったが、話を聞くことができて面白かった。

・住んでいるのは海外で、普段話しているのは外国語なのに、日本語が上手な方が多くて故郷を大切にしているなど感じた。

・発表するのが緊張したけど、英語圏の人に自分の英語が伝わって嬉しかったです。

・英語を聞き取ったり理解するのは少し大変だったけど、自分と違う文化の人と関わって楽しかった。

・みなさん南加和歌山県人会がすごく好きで大切にしているのわかりました。日本に住んでいなくても、日本が好きなのがすごく素敵だと思いました。県人会の方々が話盛り上がりたり、質問に答えてくれるときさうきしていつでも楽しくながら県人会について知ることができました。

・外国の方とこのように交流する機会が今まで全然なかったので楽しかった。もっとその国の文化について知りたいと思ったし、日本のことや和歌山の文化を広めたいと思った。

・外国の県人会の方と交流する機会はとても貴重な体験で、現地の人々の様々な話を聞くことはとても興味深かった。また、外国の文化について知れたり、移住した人の生の話が聞けてとてもうれしかった。

・カリフォルニアの紹介映像で、カリフォルニアがどんなところなのか見れて楽しかったです。

・海外の人たちとリモートで話す機会はそんなにないので、貴重な体験ができた。自分の質問に対して丁寧に受け答えしていただいて嬉しかった。

C組

・思っていたより日本語の上手な人もいて、びっくりした。実際に外国に住んでいる人と交流する機会はあまりないので、とてもよい経験となった。

・日本とカリフォルニアではたくさんの文化の違いや流行があることがわかった。南加和歌山県人会の人たちはみんないい人たちばかりで、とても楽しい時間を過ごすことができた。

・海外の人と会話をするという貴重な体験ができて、初めての国際交流を楽しんですることができた。

・自分で英語で質問するのは緊張したけど、きちんと伝わって、丁寧に答えてくれたので、うれしかった。

・アメリカの人と英語で交流できたのが楽しかった。ときどき、知っている単語や意味を理解できる場面があった。

・外国の人と話すのは少し緊張したけど、楽しかった。自分の英語が通じたことが自身にもつながった。みなさん優しくなむとばかりで、リラックスして会話を楽しめた。

・日本とは全然異なった文化や習慣があって、世界っておもしろうと思った。海外へ行きたい!

・初めて外国の方と交流できる場があり、異文化に興味を持った。

・さまざまな人がリモートで集まって、英語で交流できることがすごいと思った。英語さえ話せば、様々な国の人と交流できると言うことがわかった。

D組

・日本の食事の時のあいさつ「いただきます」や「ごちそうさま」などの文化を続けていってらっしゃることに驚いた。たくさん質問で県人会の方たちを知ることができてよかった。

・県人会のたちはとても親切で優しく説明してくださって、お話の内容がすごく分かりやすかったです。クラス代表で質問してくれた人が、英語でコミュニケーションをとってすごいと思いました。

・今回の交流で、海外の様子を知ることができたり、多くの日本の文化や食がアメリカにも伝わって驚いた。

・実際に外国人の方と交流することで、現在のカリフォルニアでの流行やコロナで変わった生活などを知ることができて楽しかった。聞き取れないところもあったので、もっとリスニング力をつけたいと思った。

・日本からすごく遠く離れているカリフォルニアの人たちとリモートで話せていること自体がすごいことだと思った。

・質疑応答やビデオを見たりして、日本とアメリカとの学習環境や風土の違いを感じることができ、とても楽しめた。

E組

・リアルタイムでカリフォルニアの人たちと会話ができていて感動した。

・海外の人と関わる機会があまりないのでうれしかった。海外の様子や雰囲気日本と違うので、海外に行ってみようと思った。

・普段の授業では学べないカリフォルニアの現状を知ることができた。

・カリフォルニアの人の話が聞けるなんて本当にすごいと思いました。友達が英語ですらすら話しているのがかっこよかったです。

・海外の人と交流できて、いろいろなことを学ぶことができたが、まだ聞き取れないことも多かったため、英語をもっと学び、リスニングなどを積み重ねて、聞き取れるようにして、海外の人ともっと交流できるようになりたい

思った。

・録画された動画ではなく、リモートで繋がってリアルタイムで話せたのが楽しかった。

・英語で外国の方と話すってすごいなと思いました。自分も英語を話せるようになりました。

・始まる前はすごく緊張していたけど、南加和歌山県人会の方々の優しい雰囲気と聞き取りやすい英語に緊張もほぐれました。質問をした後に少し話せたときは、すごく楽しかったです。不安な気持ちも大きかったけれど、良い経験になりました。

・この交流会がきっかけで、南加和歌山県人会の方のことを知ることができました。質問をしている橋高のみなさんの発音がきれいですごいな、と思いました。またこういう交流会ができればいいなと思います。

令和4年度 1学年「特別講義」実施要項

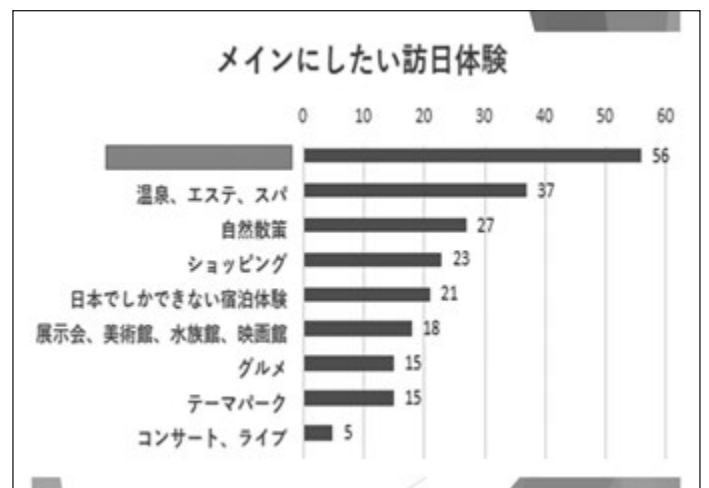
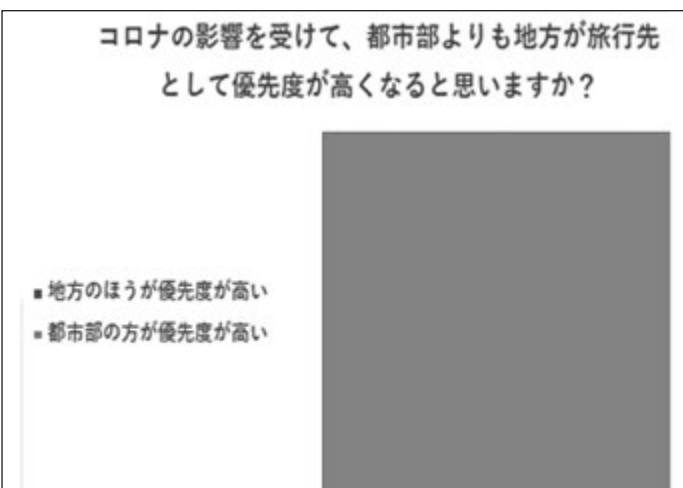
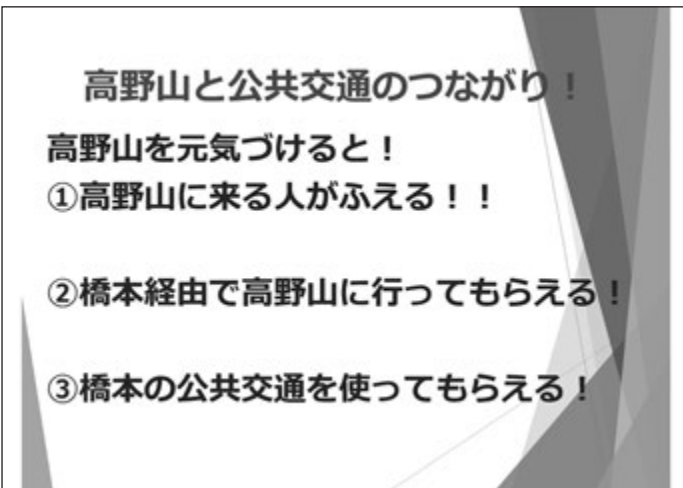
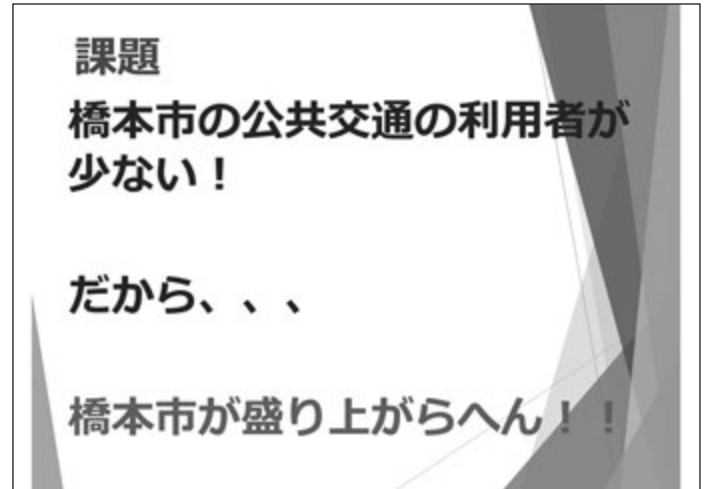
1. 趣 旨 多様な文化や価値観の異なる留学生との交流を通して、異文化理解を深め、探究活動に役立てる。
2. 日 時 令和4年10月28日（金）15時25分～16時15分
3. 場 所 橋本高等学校 1年C組
4. 対 象 高校1年C組（40名）
5. 内 容 観光学を学ぶ留学生のプレゼンテーションや意見交流を通して異文化理解を深め、総合的な探究の時間の学習活動に繋げる。
6. 講 師 大阪観光大学観光学研究教育センター 児玉恵美子氏
大阪観光大学観光学部国際交流学部 東祐大郎氏
7. 備 考 当日留学生4人も教室にて生徒に支援をする。

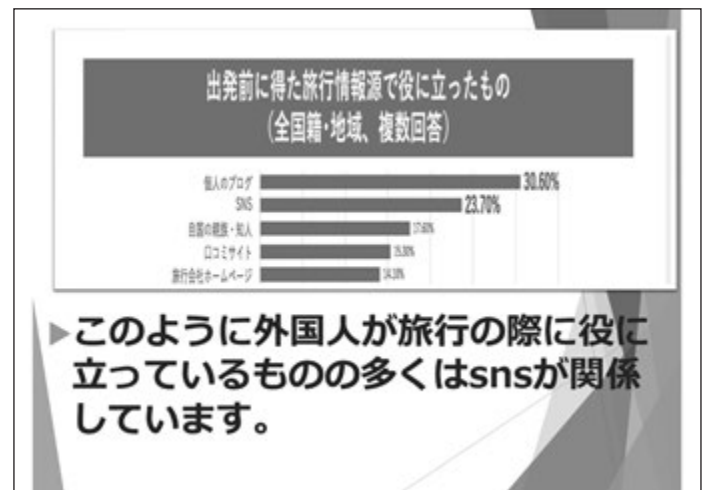
7. 1 学年事業内容 ⑧テーマ別発表

1学年 総合的な探究の時間 発表タイトル

クラス	テーマ	班	タイトル
A組	共育コミュニティ	1	橋本市を活性化するためには
		2	みんなが笑顔でくらせる町にするために
		3	橋本市のストロー現象をふせぐためには
		4	共育を実現するために
	地域福祉	1	橋本市に若い世代を呼び込む
		2	高齢者の困りごとについて（移動手段）
		3	地域福祉（高齢者の困りごと）
		4	私達の医療制度
B組	農林業	1	みんなに柿を食べてもらうために
		2	橋本市のブドウについて
		3	橋本市の農業従事者
		4	橋本市の柿を全国に広めるために
	住宅環境	1	橋本市の空き家について
		2	橋本市の空き家問題について
		3	空き家を作らせない
		4	空き家について
C組	高野山 シティーセールス	1	高野山の魅力を全世界へ
		2	橋本の利便性
		3	暮らし豊かに橋本市
		4	高野山を攻略しよう！
	高野山 公共交通	1	高野山
		2	高野山と公共交通
		3	高野山～歴史と発展に向けて～
		4	高野山を元気づけたい！
D組	商工業	1	橋本市の特産物
		2	橋本市を活性化させるために何ができる？～橋本市をバズらせよう！！～
		3	どうすれば橋本市の農産物を有名にできるのか
		4	橋本市の農産物を広めるには
	循環型社会	1	橋本市のゴミ問題について
		2	ゴミの発電について
		3	橋本市のゴミの分別
		4	ゴミを減らして橋本をきれいな街に
E組	危機管理・防災	1	空き家または老朽化した住宅と防災
		2	橋本市の備蓄に関する資金について
		3	災害時に逃げ遅れないために
		4	防災意識を高めるためには
	教育・子育て環境	1	コミュニティバスで子育ての負担を減らそう
		2	家庭を1人にさせない
		3	夕日の里プロジェクト
		4	橋本市の子育て支援の現状とこれからの必要なこと

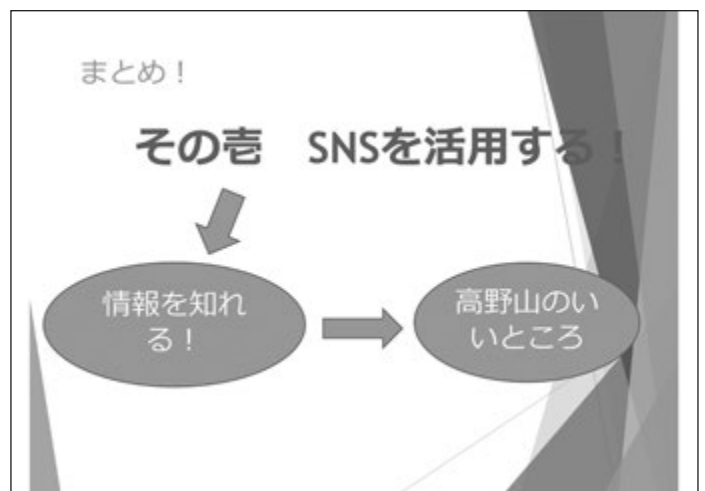
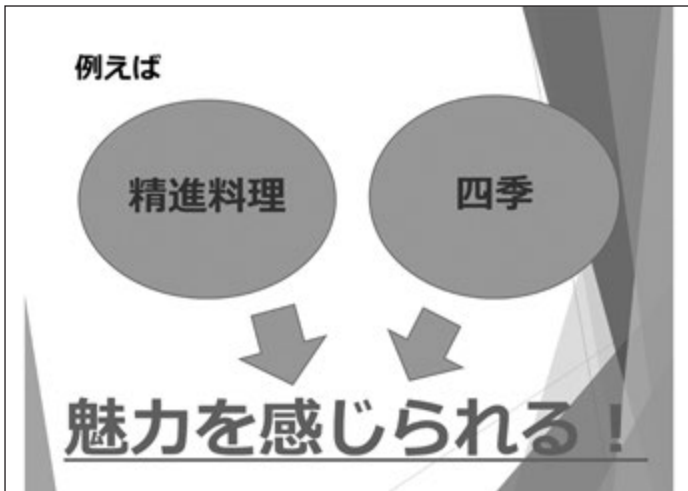
7. 1 学年事業内容 ⑧テーマ別発表「高野山を元気づけたい！」

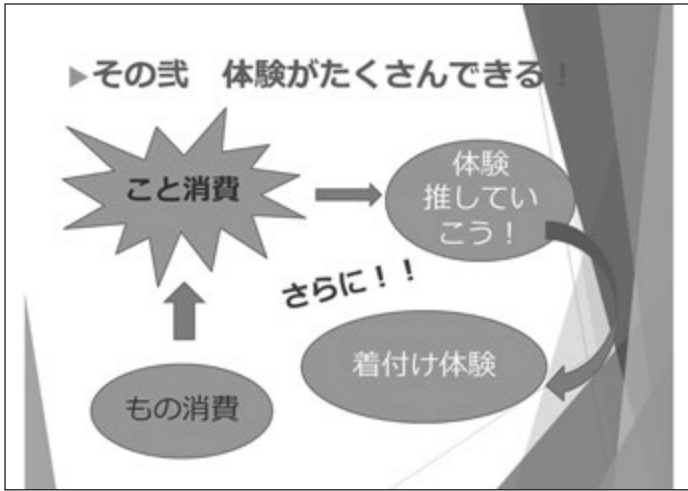




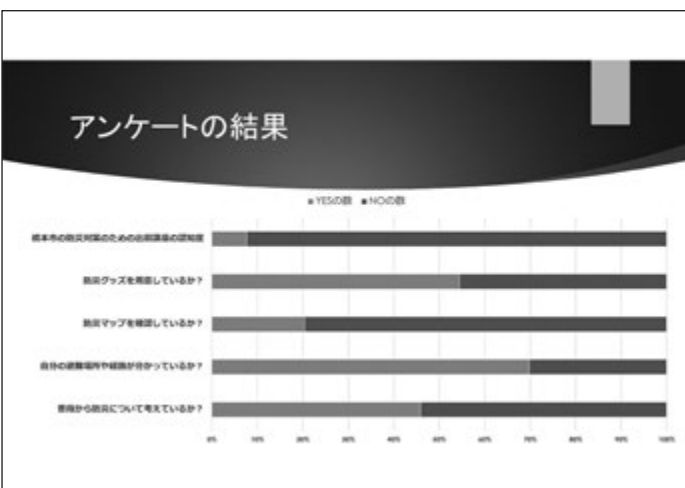
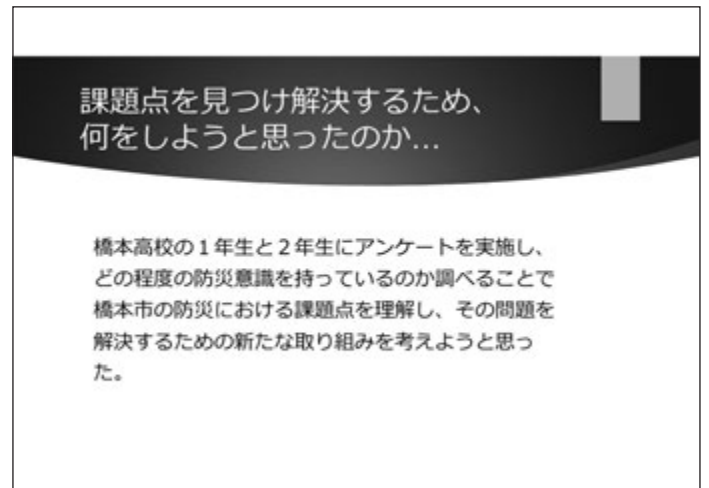
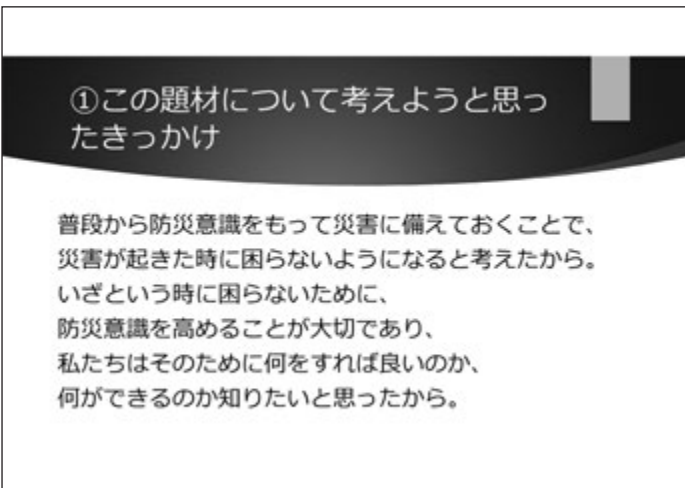
- SNSを通じて情報を発信する際にしてほしいこと
- ①高野山の映えスポットを発信する!
 - ②ホームページやインスタグラムで、色々な言語を使う!







7. 1学年事業内容 ⑧テーマ別発表「防災意識を高めるためには」





① 漫画形式の防災マップの作成と配布

災害時に危険な場所をキャラクターが紹介したり、その場所にいた場合どんな被害に遭ってしまうかを漫画にして住民に配布する。

一般的な防災マップ

- ・情報量が多く、分かりにくい
- ・記憶に残り辛い
- ・小さな子供などは理解するのが難しい

漫画形式の防災マップ

- ・いろいろな人に興味を持ってもらいやすく記憶にも残りやすい

② 地域の高校生による防災講座

地域の高校生が自ら、避難場所や危険な地域、災害が起きた時のために用意しておくべきものなどを調べ、小学校や中学校で調べた事をもとに小規模の防災講座を行う。

<メリット>

高校生	→	正しい知識を教えるために様々な情報を自分達で調べるので、防災の知識を身につけることができる。
小・中学生	→	自分たちと年の近い人から教えてもらえるので、気になったことや分からなかったことを質問しやすい。

根拠となる資料や事例

漫画形式の防災マップの根拠

「漫画表現を用いた防災知識の提示による 防災意識向上手法の効果」
https://www.wakayama-u.ac.jp/files/00155304/2017_04_enokida.pdf

地域の高校生による防災講座の事例

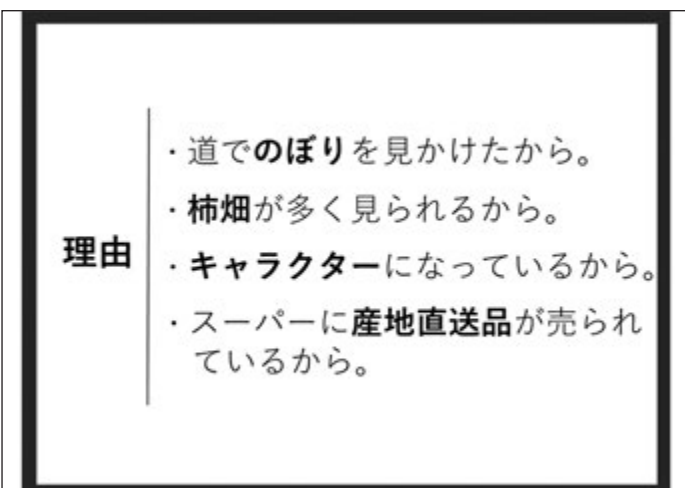
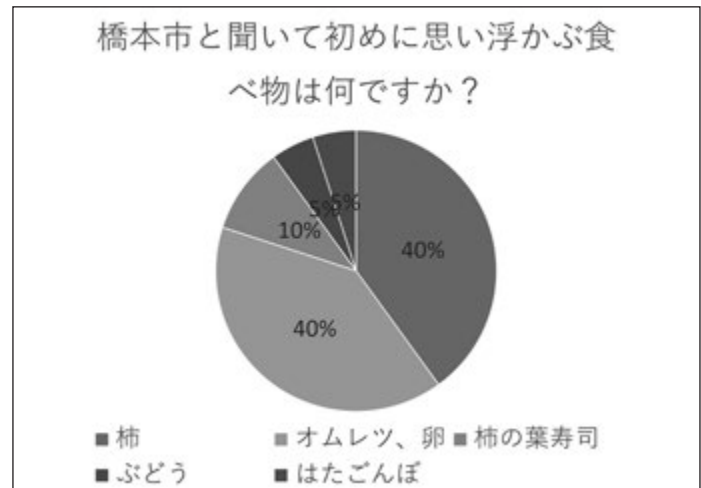
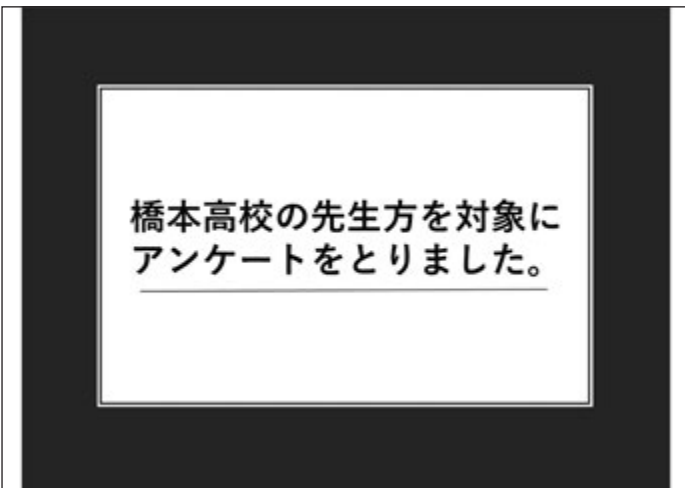
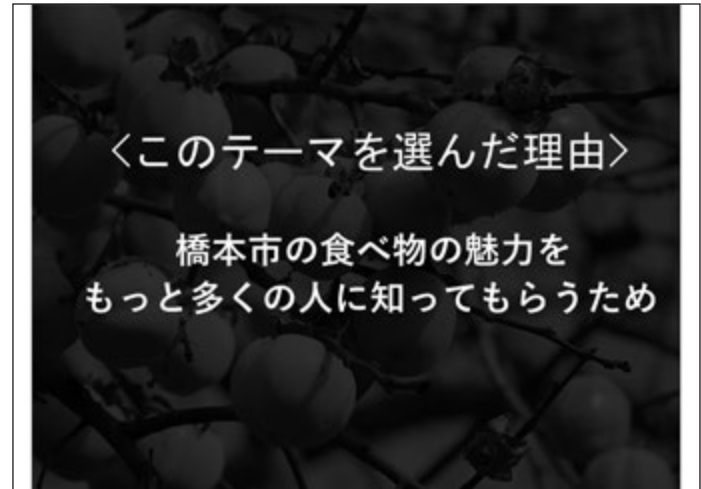
「被災を経験した高校生が母校の後輩小学生に防災講座」
<https://times.sanpo-us.net/detail/pid-8968/>

③ 結論

防災意識を高めるためには、防災に対して興味を持ってもらうことが最も大切であると感じた。
 防災について興味を持ってもらうために、様々な場所で防災に触れる機会を増やすべきであると思う。

ご清聴
 ありがとう
 ございました

7. 1学年事業内容 ⑧テーマ別発表「どうすれば橋本市の農産物を有名にできるのか」





柿の問題点

- ・生もので保存しにくい
- ・決まった場所でしか販売できない



キッチンカーなら解決できる

キッチンカーの利点

生ものでも
販売可能

様々な場所へ
の移動が容易

話題に
なりやすい

長期休暇が
できる

人件費を
抑えられる

開業にかかる
費用が安い

多くの人に橋本市の柿を
知ってもらうきっかけ
になる

キッチンカー実現にあたっての注意点

- ・スムーズに提供できるか
- ・集客しやすい場所か
- ・商品の種類は豊富か
- ・キッチンカーのデザインは魅力的か

キッチンカー実現にあたっての注意点

- ・このキッチンカーでしか
食べられないものか
- ・食べやすいものか
- ・出店場所を確保できるか

デザイン

特有の商品

キッチンカーで販売する商品の例

柿の天ぷら



柿ラッシー



柿パフェ



柿チップス



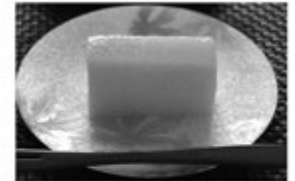
柿とリンゴ
のパイ



柿とチーズの春巻き



柿羊羹



柿サンドイッチ



柿シャーベット



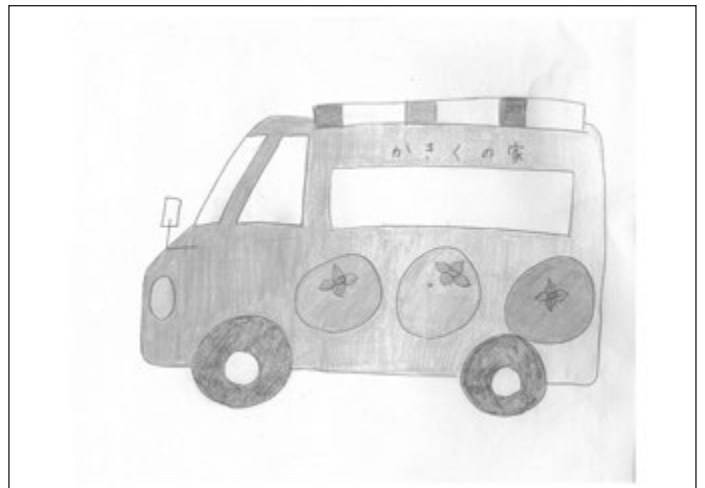
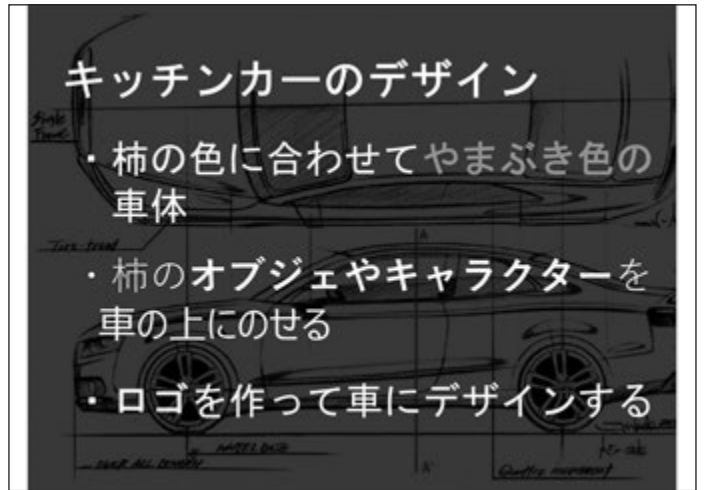
このキッチンカーならではの物

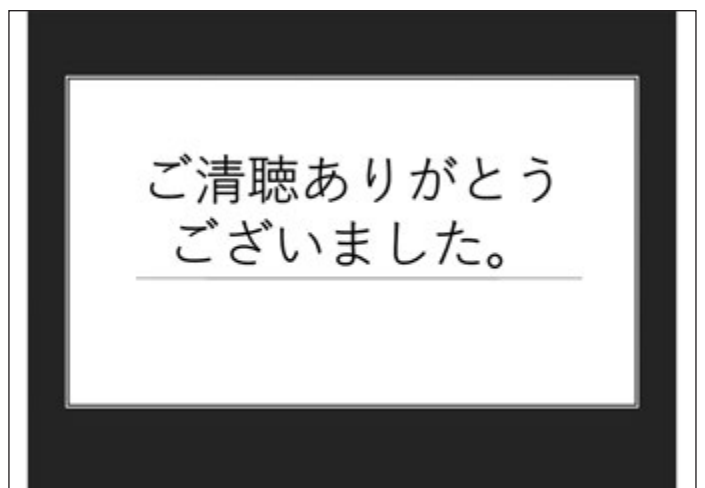
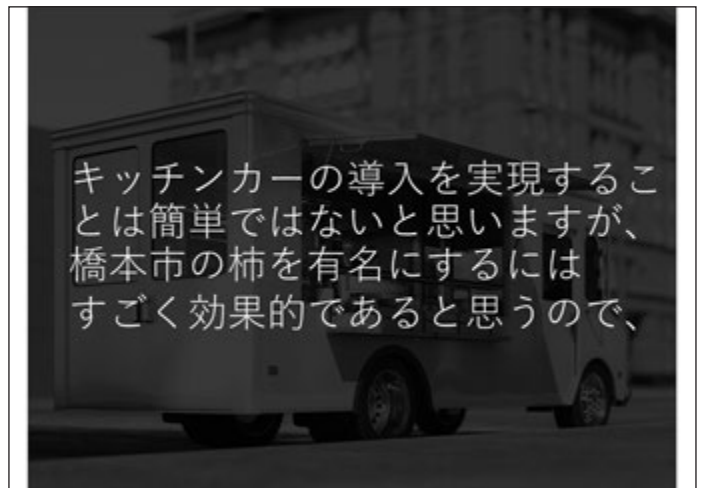
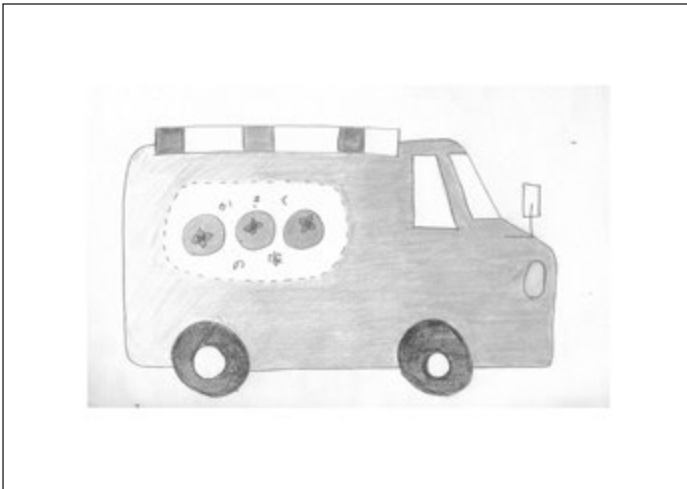
意外性

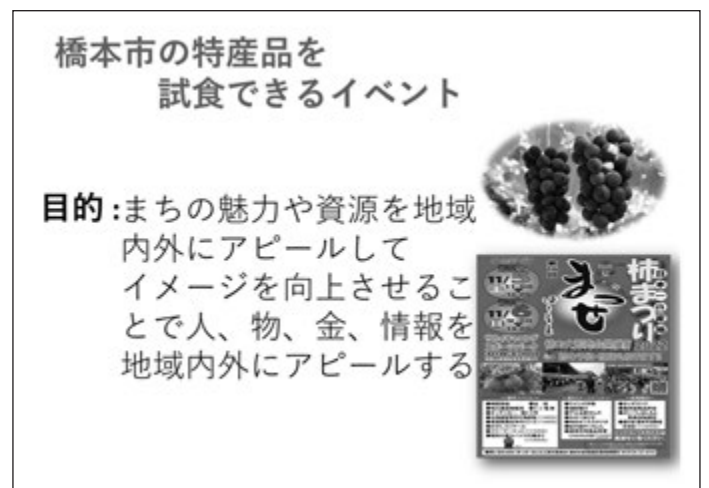
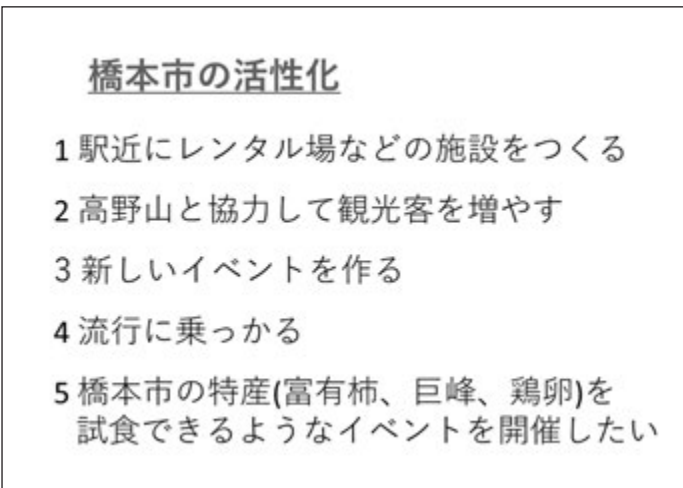
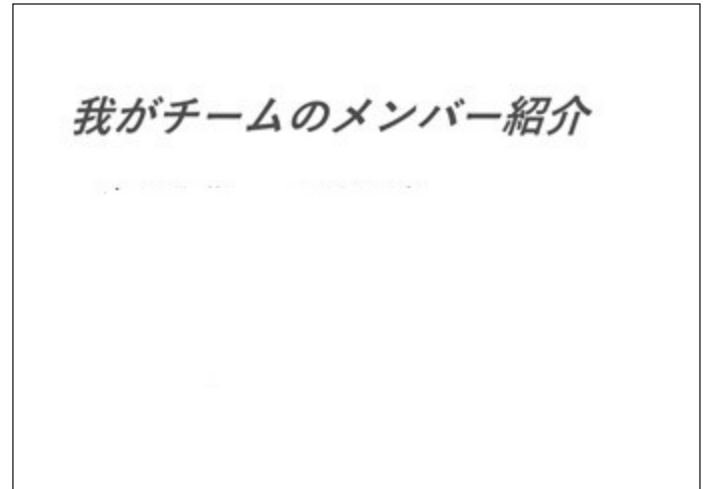
橋本市の特徴

《他の地域の取り組み》

愛媛県のみかんのキッチンカー







柿の種類



- ・形は角ばっている
- ・種はなし
- ・果肉が柔らかく、甘くてジューシー



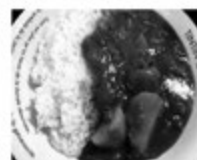
- ・甘味が強い
- ・形は丸に近い四角
- ・皮には光沢があり、つるつるしている

たねなし柿のおすすめ柿料理 野沢菜と柿の炒め物



- ・野沢菜の塩気と柿の甘さバランスがよい合わせ
- ・お酒のつまみにある一品
- ・切って炒めるだけの簡単料理

富有柿のおすすめ柿料理 柿カレー



- ・富有柿を入れて煮込むことで柿の甘味でまろやかなカレーに

新しいイベントを作る

理由

- ・橋本市のイベントが少ないと感じたから

橋本出身のスポーツ選手

- ・筒香選手（プロ野球選手）
- ・松原優吉（プロサッカー選手）
- ・余川ジョウイ（プロサッカー選手）

橋本市出身の音楽関係者

- ・阪井あゆみ（歌手）
- ・辻本好美（尺八奏者）
- ・森本英希（フルート奏者）など

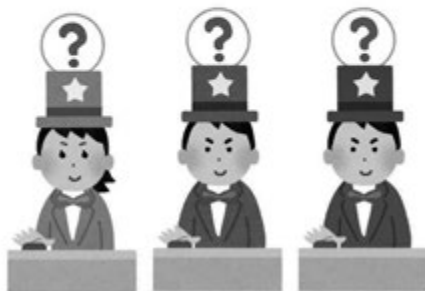
最近流行ってるSNSを使用し 橋本市を宣伝する!

- ・近年の若者はよくSNSを使用しているのでそのSNSを介して宣伝することで若者に興味を持ってもらう
- ・もし世界的に興味を持ってもらえたら外国人観光客も増える



ここで皆さんにクイズです!!

いま世界で最も使われている”SNSトップ5”は何でしょうか?



今流行っている
アプリ

- ・1位Instagram
- ・2位Twitter
- ・3位Facebook
- ・4位LINE
- ・5位TikTok



まとめ

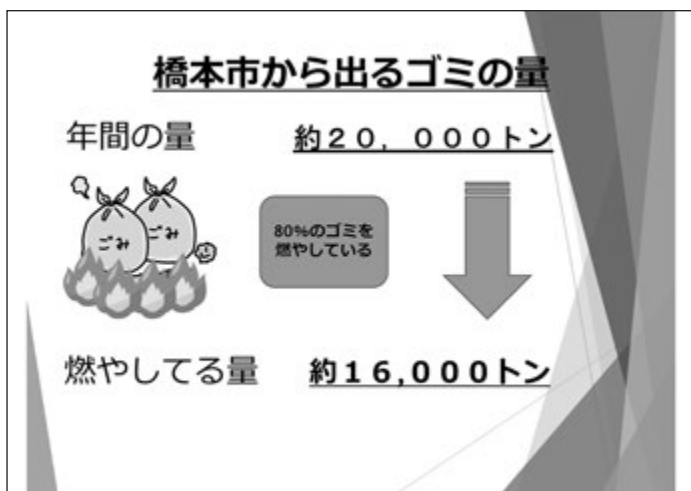


橋本市には特産品やイベントなど多くの魅力があります。その魅力を多くの人に伝えることができれば橋本市を活性化させることができます。

橋本市を活性化させるためにご検討
よろしくお願ひします。



7. 1学年事業内容 ⑧テーマ別発表「ゴミの発電について」



多額の費用がかかる



分別して発電に生かそう！！！！

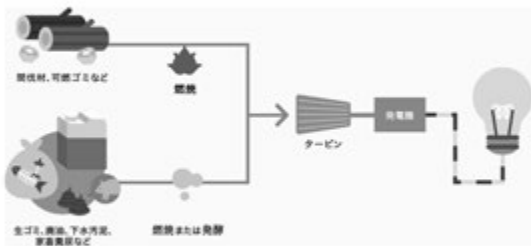
では、埋め立て量を削減するには？

例えば...

1. ゴミの分別を徹底する



2. 廃棄物の有効利用



ゴミ発電のメリット・デメリット

この取り組みを行っている自治体

経済効果

愛知県豊橋市

ゴミ処理経費
3億円削減



発電等による収入
3億円



約6億円

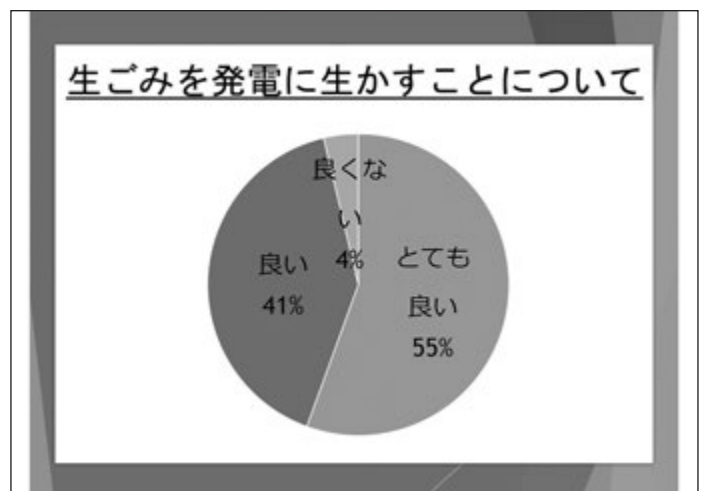
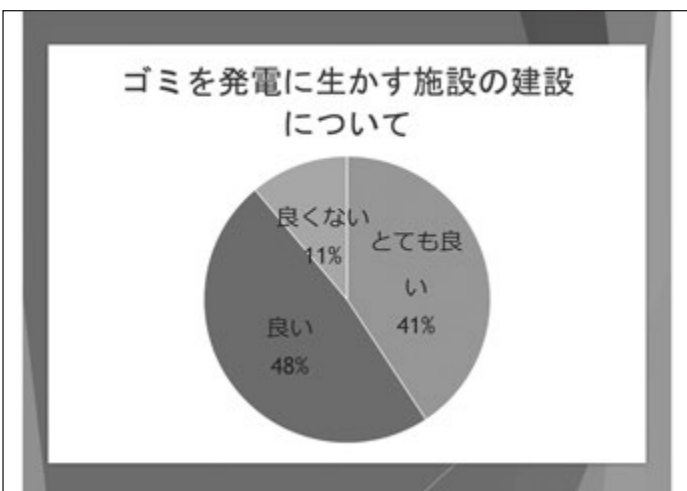




ごみ発電でのデメリット

廃棄物を燃やすと、有害ガスが発生する可能性がある

ダイオキシン ダイオキシン



まとめ

- ・ごみの分別を徹底する
 - ・廃棄物の有効活用
- 持続可能な社会へ！




ご清聴ありがとうございました。



7. 1学年事業内容 ⑧テーマ別発表「橋本市の空き家問題と地域活性化」

橋本高等学校1年 住宅環境2班

テーマ
橋本市の空き家
問題と地域活性化




このテーマを選んだ理由

里離れ

空き家が増える

高齢化



里戻り！？

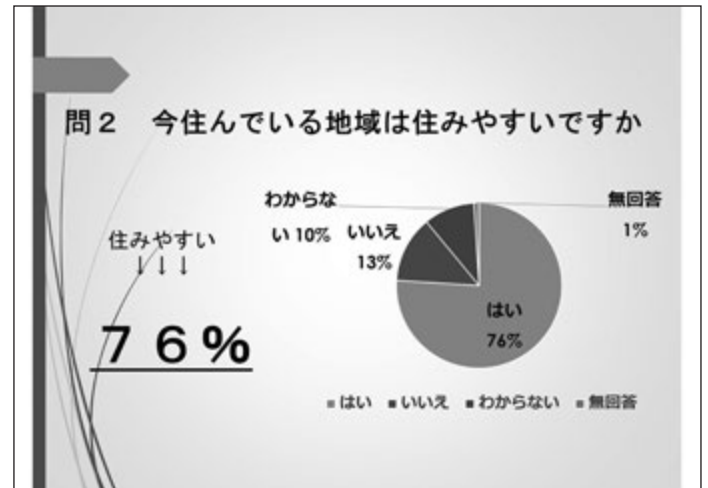
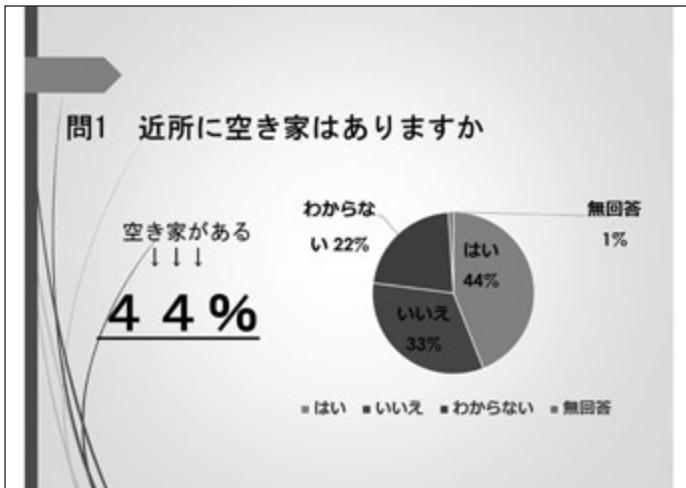
地域活性化

人口増加！？



問題点を解決すべき！！！！

橋本市の空き家の状況や問題を
大まかに知るために
橋本高校の1.2年生と教員に
合計3問のアンケートを取りました。



- 問3 近所で困ってることはありますか
- ・家の周りに店がない。
 - ・街灯、ごみ箱がない(ポイ捨てが多い)。
 - ・車などの出入りが多くて危ない。
 - ・カーブミラーがない。
 - ・ごみ収集の回数が少ない。

- ・一人暮らしの高齢者が多いため10~20年後の空き家が増えそう。
- ・空き家の破損がひどく、自然災害の影響を受けそうで心配。

それについて考えたこと

- ・街灯、ごみ箱がない
→街灯、ごみ箱の設置 (特に公園周辺など)
- ・ポイ捨てが多い
→ごみ箱の設置、ボランティア活動
- ・車の出入りが多い、カーブミラーがない
→カーブミラーの設置

- アンケートの結果まとめ
- ・“空き家がある”と答えている人の割合が多い
 - ・今住んでいる地域は住みやすいと答えている人は多いが、困っていることもたくさんあり、課題は多い。

地域活性化のための具体的な方法

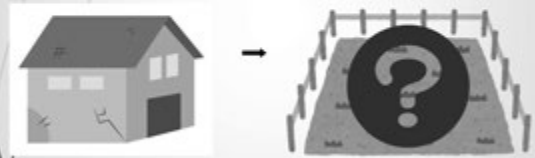
空き家をリフォームして
仮居住地や民泊施設にする



空き家をリフォームして
仮居住地や民泊施設にする



空き家を取り壊し
その土地を有効活用する



地域の人々が気軽に利用できる
公共サービスの提供



提案



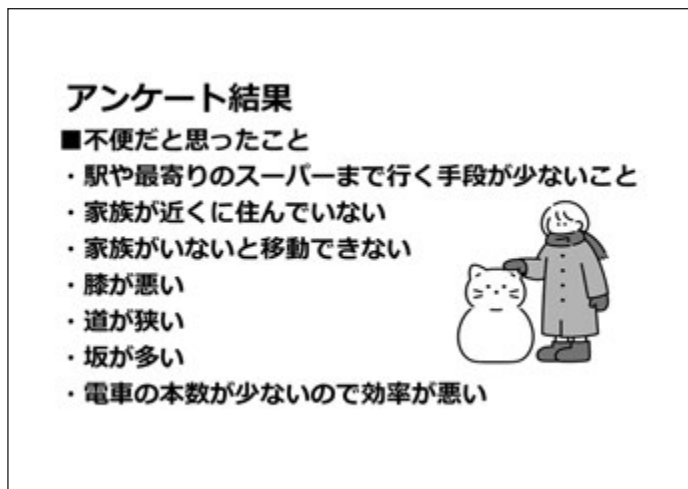
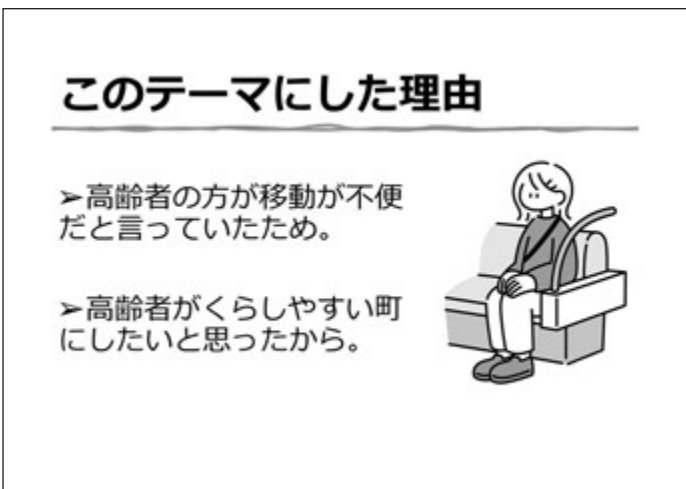
・本店を置く



・自然！人の良さ！



ご清聴
ありがとうございました





Q2,橋本市のコミュニティバスは、8か所から出ていますがそれぞれ一日に何便バスが出ているでしょうか？この問題は4択です。

この中から選んでください

- ① 9～10便
- ② 4～5便
- ③ 6～7便
- ④ 2～3便

Q2, ② 4～5便

ゴミ発電のメリット・デメリット

あやの台オークワ行き				橋本駅経由		橋本市役所行き				
1便	2便	3便	4便	停留所名	1便	2便	3便	4便		
8:54	11:25	14:23	16:54	車庫前	▲	9:55	12:26	15:24 17:55		
橋本市役所行き				林間田園都市駅経由		光陽台行き				
1便	2便	3便	4便	停留所名	1便	2便	3便	4便		
8:13	10:41	13:39	16:10	光陽台東	▲	8:13	10:41	13:39 16:10		
橋本駅行き						高野口駅行き				
1便	2便	3便	4便	停留所名	1便	2便	3便	4便		
9:05	11:29	14:28	16:52	高野口駅前	▲	9:05	11:29	14:28 16:52		
橋本駅行き						高野口駅行き				
1便	2便	3便	4便	5便	停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
7:54	10:18	13:12	15:41	17:59	高野口駅前	▲	7:54	10:18	13:12	15:41 17:59



解決策一つ目は・・・
バスの大きさを縮小 → バスの便を増加

解決策二つ目は・・・
地域の中高生がボランティアの参加
⇒家まで食料品や日用品の配達



《解決策のまとめ》

■高齢者の方が最も困っていることは移動手段

解決策として・・・

- 1, バスの大きさを必要最小限にしてバスの便を増やす。
- 2, 地域の中高生がボランティアとして家まで日用品の配達を行う。



<テーマのまとめ>

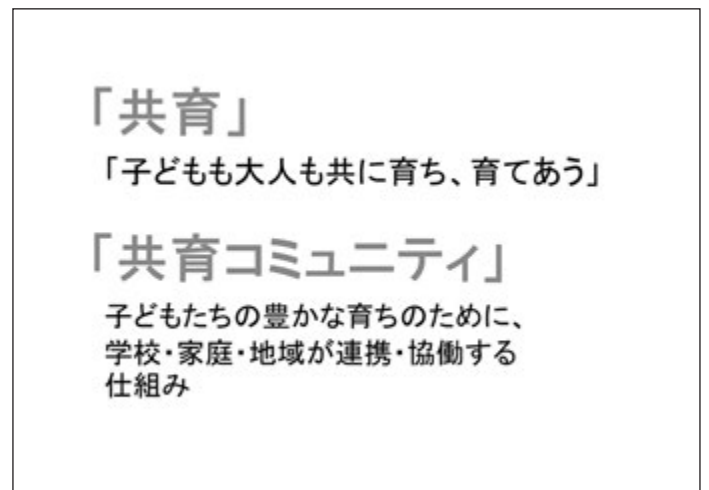
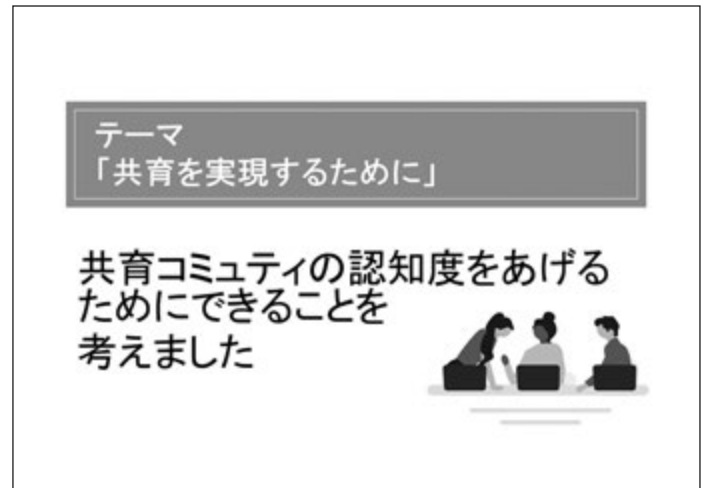
これからも橋本市は高齢化が考えられる
⇒今のうちに高齢者の困りごとを解決することで、住やすい街につながる。



ご清聴ありがとうございました



7. 1学年事業内容 ⑧テーマ別発表「共育を実現するために」



<アンケート内容>

1. 共育コミュニティの活動に参加したことがありますか？

2. 参加したことがある活動は何ですか？

1.

参加したことがあると答えた人

参加したことがないと答えた人

77人

30人

2. 参加した活動

- ・地域清掃
- ・講演会(紀見東中学校)
- ・学習支援
- ・図書ボランティア(紀見北中学校)

結果

活動は認知されているが、共育コミュニティの活動としては認知されていない。



考察



共育を実現するためには、共育コミュニティの認知度を上げる必要がある

認知度をあげるために

- ポスターなどでPRをする
- 橋本市のホームページの目立つところに掲示する
- SNSを活用する

・ポスターなどでPRする方法



大勢の人に見てもらえる駅に貼る

じっくり見てもらえる場所に貼る
例 バスのホームや待合室、カフェ、

・橋本市のホームページの目立つところに掲示する

ホームページのピックアップ欄などに共育コミュニティのPRを掲載してもらうなど。

・SNSを活用する



インスタグラムやツイッターなどの利用者数が多いSNSで発信する

共育コミュニティで行う予定の活動について(日時や場所など)掲載する。



参加者・認知度UP！！

参考文献

実施したアンケート

橋本市ホームページ
ホーム／橋本市 (hashimoto.lg.jp)



ご清聴
ありがとうございました。

7. 1学年事業内容 ⑧テーマ別発表「コミュニティバスで子育ての負担を減らそう」


コミュニティバスで子育ての負担を減らそう!



1E 教育・子育て環境1班

目次

- ・コミュニティバスとは
- ・コミュニティバスに着目した理由
- ・アンケート調査とその結果からわかること
- ・橋本市の新たな取り組み



コミュニティバスとは

コミュニティバスとは、交通空白地域・不便地域の解消等を図るため、市町村等が主体的に計画し運行を行うもの

現在橋本市では、橋本市の花「さつき」をあしらったオレンジ色のバスが運行しています

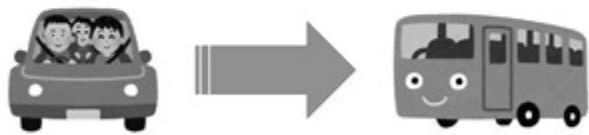


- 運行日 月曜日～土曜日（日曜・祝日は運休）
- 運賃 大人200円・小人（小学生）100円
ICカード・回数乗車券 利用可能



コミュニティバスに着目した理由


親への負担軽減に繋がられるのではないか



アンケート調査

今回、橋本高校の1,2年生（計326名）に、次のようなアンケートを実施しました。

- Q1.コミュニティバスの存在を知っているか
- Q2.コミュニティバスの使用頻度について
- Q3.塾や習い事への移動手段について
- Q4.登下校時の移動手段について
- Q5.コミュニティバスの改善点は何か



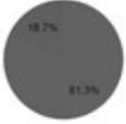
アンケート調査より

- ・回答者の約80%が「知っている」
- ・回答者の約90%が「使ったことがない」
- ・回答者の約48%が塾や習い事に、64%が登下校に、車で目的地又はその途中まで送迎してもらっている

229人(約70%)
は知っているのに使っていない

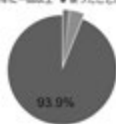
コミュニティバスを知っていますか？

●はい ●いいえ



コミュニティバスの使用頻度は？

●4週間以上 ●1か月に1回以上 ●半年に1回以上 ●1年以内 ●使ったことがない



その他の意見



改善

目的：子供が乗りやすい環境づくり



運賃の変更



市内の学校との協力

運賃の変更

・学割の実施

今：小学生 100円
中学生以上 200円
案：小学生 100円
中高生 150円
大人 200円



市内の学校との協力

市内の学校と協力して学校の終わる時間帯にバスを走らせる
コミュニティバスの使用度向上につなげる



ご清聴ありがとうございました






橋本市は柿で有名だけど…

学校給食で地元でとれた柿が
出ていたのを覚える？

その時柿を残してる人が多かった印象…


課題：どうしたらみんなに柿を
食べてもらえるかな？



そもそも柿を食べない理由は？

- ・ふつうに味、におい、食感が嫌い
- ・たくさんもらうから食べ飽きてしまった


柿って何がいの??



柿を食べるメリット

✓医者の仕事が減るほど健康になれる

- ◎ビタミンC
老化予防、美肌効果、免疫を高める
- ◎βカロテン
老化防止、がん予防
- ◎カリウム
むくみの改善や血圧を下げる
- ◎食物繊維
腸内環境を整える




参照元 良好倶楽部
ふるさと納税discovery

そもそも柿を食べない理由は？

- ・ふつうに味、におい、食感が嫌い
- ・たくさんもらうから食べ飽きてしまった

↓

柿をアレンジした料理
を食べたらいいのでは？




農家さんは…

できれば柿そのものを味わってほしい！！

アレンジしたものでいいから、
柿の魅力を知って楽しんでもらいたい

しかも
“商品として売れない柿”
も使用できるから



農家さんは…

できれば柿そのものを味わってほしい！！

アレンジしたものでいいから、
柿の魅力を知って楽しんでもらいたい



しかも
“商品として売れない柿”
も使用できるから

ということで実際に作ってみた

～柿プリン～

1. 熟した柿をミキサーでつぶす
2. 柿の半分の量の牛乳を入れて混ぜる
3. 好きな硬さになるまで冷蔵庫で冷やす



ということで実際に作ってみた

～柿プリン～

- ・簡単な材料かつすぐにできる
- ・栄養満点でたべやすい



✓工夫次第で柿嫌いの方に食べて頂けるかも

ということで実際に作ってみた

～柿ケーキ～



1. ホットケーキミックスに卵、砂糖、柿を入れ混ぜる
2. 型に流し入れて、予熱したオーブンで180℃35～40分焼く
3. アルミホイルに包み室温で一晩寝かせる



ということで実際に作ってみた

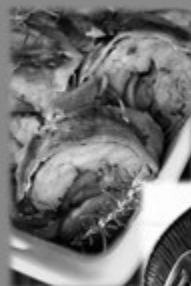
～柿ケーキ～

- ・表面の柿はサクサク
生地に柿ペースト
- ・異なる食感の柿が濃厚



✓柿の食感が嫌いな方でも食べられるかも

このほかにも



作ってみてわかったこと



- ・ 柿はたくさんの食材と合わせやすい
- ・ 簡単に作れる料理もたくさんある
- ・ 柿の嫌いな部分を調理次第でまかなうことができる

ぜひ皆さんも作ってみませんか？

ちょっと休憩

参照元 NHK和歌山県ニュース
産経ニュース

“紀州てまり”って知ってる？

和歌山県が開発した
オリジナルのブランド柿

一般的な柿よりも2度
ほど甘く、実も1.5倍
ほど大きい

ジューシーな味わいと
美しい外観が特徴



実際に

実例：鹿児島県曾於市



ふるさと納税
寄付金UP！



参照元 DELISH KITCHIN
ふるさと納税会議

実際に

✓オリジナルレシピ動画の利点

- ・ いつでもだれでも見ることができる
- ・ 遠隔での操作が可能
- ・ 写真やイラストに比べ、見やすい
- ・ コメントなどから
新たな発想を得ることができる

本題：みんなが柿を食べるために



レシピを
掲載

柿を買う
人が増える



みんなが
食べる

ご清聴ありがとうございました

総合的な探究の時間クラス別発表会を振り返って

1年()組()番

()

1月19日のクラス別発表会を終えてどのようなことを考えましたか。それぞれの班での自分の役割はどうだったか。発表にむけての取り組みはどうだったか。来年度の探究の時間にさらに良い探究ができるように、記憶の新しいうちに振り返ってみましょう。発表のテーマ(題名)

()

()班

メンバー()、()、()

()、()

○活動の内容に関すること

(1)テーマに対する考え方は、活動の前後でどう変わりましたか。

(2)この活動を通して、学んだことを書いてください。

(3)もし次に同じような活動をするならば、どんな課題に取り組みたいですか。理由とともに書いてください。

○自己評価

(1)班の中で、どんな役割を担いましたか。

(2)この活動を通して、成長したと思うことを書いてください。

(3)逆に、足りていなかったと思うことを書いてください。

(4)自分に点数をつけるなら何点ですか。また、その点数をつけた理由を書いてください。

()点

理由

○他者評価

自分のことは自分が一番わかっているかと思っいるかもしれませんが、他者から見た自分にはひょっとすると意外な一面があるかもしれません。班での活動のなかで見えてきた自分の良いところを、班の中の他のメンバーに書いてもらいましょう。

① 記入者氏名()

② 記入者氏名()

③ 記入者氏名()

④ 記入者氏名()

先生のコメント

8. 2学年事業内容 ①夏休みの課題（全クラス共通）

総合的な探究の時間 夏季休暇課題 ～ SDGs に関するニュース記事を読もう ～

提出日：8/26(金)7限の総探 2年()組()番()

朝日新聞がSDGsに関するニュース記事をまとめている「2030 SDGsで変える」というサイトがあります。夏休み中にそのサイトにある記事をたくさん読んで、SDGsに関する知識をつけたり、視野をもっと広げたりしましょう。

課題の手順

- ① 「2030 SDGsで変える」で検索。
- ② 記事を1つ選んで読んでみる。
新着記事、記事ランキング、キーワード、目録別どこから選んでも良い。どれを読むかであまり悩まず、タイトルを見てばっと目をひくものを読むことがポイント。
- ③ とにかくたくさんの記事を読んでみる。
いろんなジャンルで少しでも興味をもった記事をどんどん読んで、知識をつけたり、視野を広げたりしよう。
- ④ たくさんの記事を読んだ中で、特に「おもしろい」「他の人に伝えたい」と思った3つの記事についてワークシートの(1)～(3)にまとめる。
- ⑤ これからのSDGs探究活動で取り組みたい課題を(4)に書く。

8/26(金)の総探で、この課題の内容についてグループ内で共有してもらいます。しっかり課題をこなしておきましょう。これからの探究活動に関わってきます。

(4) 取り組みたい課題

[]

その課題に取り組みたい理由

[]

(1) 記事のタイトル

[]

どんなSDGsに関する課題があるのか。

[]

その課題に対して、どう取り組んでいるか。または、どう取り組もうとしているか。
(取り組みについて書かれていなければ、自分で考えてみよう。)

[]

なぜこの記事が「おもしろい」「他の人に伝えたい」と思ったか。

[]

(2) 記事のタイトル

[]

どんなSDGsに関する課題があるのか。

[]

その課題に対して、どう取り組んでいるか。または、取り組もうとしているのか。
(取り組みについて書かれていなければ、自分で考えてみよう。)

[]

なぜこの記事が「おもしろい」「他の人に伝えたい」と思ったか。

[]

(3) 記事のタイトル

[]

どんなSDGsに関する課題があるのか。

[]

その課題に対して、どう取り組んでいるか。または、取り組もうとしているのか。
(取り組みについて書かれていなければ、自分で考えてみよう。)

[]

なぜこの記事が「おもしろい」「他の人に伝えたい」と思ったか。

[]

8. 2学年事業内容 ①夏休みの課題（英文課題）

2DE 総合的な探究の時間 夏季課題

  *必須

クラスを選択してください。*

D
 E

出席番号を選択してください。*

氏名を入力してください。*

回答を入力

INTRODUCTION「Making cities smarter with technology」を読んで、「SMART * CITY」とは何か説明してください。*

回答を入力

CASE②「Bangkok exploring smart transportation」の要約を書いてください。*

回答を入力

CASE②について、バンコクの交通状況に関して、どんな問題が生じていますか。*

回答を入力

CASE②について、なぜ一人一人の交通移動を快適にすることで、QOLを向上できるのでしょうか。*

回答を入力

送信 フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは和歌山県教育委員会 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

Smart cities for a brighter future

Making cities smarter with technology

INTRODUCTION
 Other kinds of problems do the world's cities have and what kinds of technology can help solve them? These are the questions that are being explored in this special feature.

02 JICA Response activities
 People and economic activities are concentrated in cities all over the world. In fact, the 2019 urban population is estimated to be 5.5 billion, which is 75% of the world's total population. This trend is expected to continue, with the urban population projected to reach 6.7 billion by 2050. This rapid increase in the urban population has led to various problems, such as air pollution, traffic congestion, and the depletion of natural resources. To address these issues, smart cities are being developed around the world. Smart cities use information and communication technologies (ICT) to improve the quality of life and the efficiency of city operations. This special feature introduces the smart city projects that JICA is supporting in various countries, and how they are contributing to the sustainable development of these cities.

03 JICA Response activities
 Innovation and technology are key to making cities smarter. JICA is supporting smart city projects in various countries, such as Bangladesh, Cambodia, and the Philippines. These projects focus on improving urban infrastructure, enhancing public services, and promoting sustainable development. For example, in Bangladesh, JICA is supporting the development of smart roads and intelligent traffic systems. In Cambodia, JICA is supporting the development of smart grids and energy-efficient buildings. In the Philippines, JICA is supporting the development of smart water supply systems and digital government services. These smart city projects are not only improving the quality of life for city residents but also contributing to the economic growth and sustainable development of these cities.

Bangkok's new hub targets smart development

CASE 08 in Thailand
 Bangkok has a long history of being a smart city. The city has been a hub for innovation and technology for many years. In recent years, Bangkok has been developing a new smart city hub in the surrounding districts, aimed at cooperation with JICA. This hub is designed to be a center for smart development, focusing on digital government services, smart infrastructure, and sustainable development. JICA is supporting this smart city hub development through various activities, such as providing technical assistance, financing, and training. The smart city hub is expected to become a model for smart development in other cities in Thailand and Southeast Asia.

08 JICA Response activities
 To build the smart city hub, Bangkok is implementing various smart city projects. These projects include the development of smart roads, intelligent traffic systems, smart water supply systems, and digital government services. JICA is supporting these smart city projects through various activities, such as providing technical assistance, financing, and training. For example, JICA is supporting the development of smart roads and intelligent traffic systems in Bangkok. JICA is also supporting the development of smart water supply systems and digital government services in Bangkok. These smart city projects are not only improving the quality of life for city residents but also contributing to the economic growth and sustainable development of Bangkok.

Enriching life through applied science

04 JICA Response activities
 Applied science is a key to enriching life through smart city development. JICA is supporting smart city projects in various countries, such as Bangladesh, Cambodia, and the Philippines. These projects focus on improving urban infrastructure, enhancing public services, and promoting sustainable development. For example, in Bangladesh, JICA is supporting the development of smart roads and intelligent traffic systems. In Cambodia, JICA is supporting the development of smart grids and energy-efficient buildings. In the Philippines, JICA is supporting the development of smart water supply systems and digital government services. These smart city projects are not only improving the quality of life for city residents but also contributing to the economic growth and sustainable development of these cities.

05 JICA Response activities
 Applied science is a key to enriching life through smart city development. JICA is supporting smart city projects in various countries, such as Bangladesh, Cambodia, and the Philippines. These projects focus on improving urban infrastructure, enhancing public services, and promoting sustainable development. For example, in Bangladesh, JICA is supporting the development of smart roads and intelligent traffic systems. In Cambodia, JICA is supporting the development of smart grids and energy-efficient buildings. In the Philippines, JICA is supporting the development of smart water supply systems and digital government services. These smart city projects are not only improving the quality of life for city residents but also contributing to the economic growth and sustainable development of these cities.

Enriching life through applied science

04 JICA Response activities
 Applied science is a key to enriching life through smart city development. JICA is supporting smart city projects in various countries, such as Bangladesh, Cambodia, and the Philippines. These projects focus on improving urban infrastructure, enhancing public services, and promoting sustainable development. For example, in Bangladesh, JICA is supporting the development of smart roads and intelligent traffic systems. In Cambodia, JICA is supporting the development of smart grids and energy-efficient buildings. In the Philippines, JICA is supporting the development of smart water supply systems and digital government services. These smart city projects are not only improving the quality of life for city residents but also contributing to the economic growth and sustainable development of these cities.

05 JICA Response activities
 Applied science is a key to enriching life through smart city development. JICA is supporting smart city projects in various countries, such as Bangladesh, Cambodia, and the Philippines. These projects focus on improving urban infrastructure, enhancing public services, and promoting sustainable development. For example, in Bangladesh, JICA is supporting the development of smart roads and intelligent traffic systems. In Cambodia, JICA is supporting the development of smart grids and energy-efficient buildings. In the Philippines, JICA is supporting the development of smart water supply systems and digital government services. These smart city projects are not only improving the quality of life for city residents but also contributing to the economic growth and sustainable development of these cities.

Bangkok exploring smart transportation

The Thai capital Bangkok suffers from endemic traffic congestion. A research project is underway that aims to not only alleviate traffic jams but also improve Quality of Life (QoL) through the use of ICT.

Bangkok, with a population of almost 10 million, has nearly half a million vehicles. Traffic jams are a daily occurrence, with a 30-minute average delay in traffic on the main roads. The Thai government is aiming to improve traffic flow and reduce congestion through the use of ICT. A research project is underway that aims to not only alleviate traffic jams but also improve Quality of Life (QoL) through the use of ICT.

In order to improve traffic flow, the Bangkok Metropolitan Administration (BMA) has implemented several measures. These include the use of intelligent traffic lights, the installation of traffic cameras, and the use of mobile phones to provide real-time traffic information. The BMA is also working on the development of a smart transportation system that will use ICT to improve traffic flow and reduce congestion.

The project is a partnership between the BMA and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The BMA is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

The project is a partnership between the BMA and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The BMA is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.



10 JICA highlights OCTOBER 2007 Issue 1000000000

1 Smart transportation experiment



2 Predicting the future through simulations



3 Human and AI evaluation of QoL



4 Visualization of spatio-temporal data



Aiming to improve Quality of Life through four approaches

The pilot experiment biggest

Other approaches to traffic congestion relief include the use of toll roads, the expansion of public transport, and the use of car-pooling. The Bangkok Metropolitan Administration (BMA) is also working on the development of a smart transportation system that will use ICT to improve traffic flow and reduce congestion.

The project is a partnership between the BMA and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The BMA is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

The project is a partnership between the BMA and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The BMA is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

The project is a partnership between the BMA and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The BMA is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.



11 JICA highlights OCTOBER 2007 Issue 1000000000

Realizing a safer life with geospatial information

In Dhaka, geospatial information is utilized in the daily life and for disaster prevention. Knowledge acquired through Japan's experience is now being leveraged in Bangladesh.

Geospatial information is used in many ways, including in the fields of urban planning, disaster prevention, and environmental management. In Bangladesh, geospatial information is used in the fields of urban planning and disaster prevention. Knowledge acquired through Japan's experience is now being leveraged in Bangladesh.

The project is a partnership between the Bangladesh government and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The Bangladesh government is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

The project is a partnership between the Bangladesh government and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The Bangladesh government is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

The project is a partnership between the Bangladesh government and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The Bangladesh government is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

The project is a partnership between the Bangladesh government and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The Bangladesh government is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.



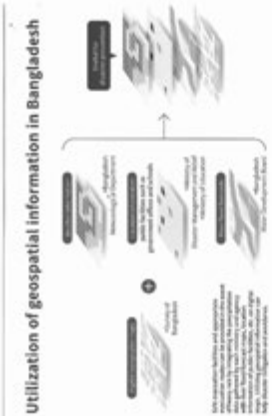
12 JICA highlights OCTOBER 2007 Issue 1000000000



Utilization of geospatial information in Bangladesh

The use of geospatial information in Bangladesh is growing rapidly. It is used in many ways, including in the fields of urban planning, disaster prevention, and environmental management. Knowledge acquired through Japan's experience is now being leveraged in Bangladesh.

The project is a partnership between the Bangladesh government and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The Bangladesh government is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.



The use of geospatial information in Bangladesh is growing rapidly. It is used in many ways, including in the fields of urban planning, disaster prevention, and environmental management. Knowledge acquired through Japan's experience is now being leveraged in Bangladesh.

The project is a partnership between the Bangladesh government and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The Bangladesh government is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

The project is a partnership between the Bangladesh government and the Japanese government. The Japanese government is providing financial support and technical assistance. The Bangladesh government is providing the infrastructure and the data. The project is expected to be completed by the end of 2010.

8. 2学年事業内容 ⑥企業スマイリーアース訪問

企業訪問研修 2022/10/14(金)

メモ欄

以下のポイントに注目して、見学中に気づいたことをメモしよう。

- ・事前学習で疑問に思っていたことの答え。
- ・工場の見学をして新たに知ったこと。
- ・これからの探究活動で生かせそうな考え方。

2年()組()番()

感想

企業訪問研修を終えて、自分の課題に対してどう取り組んでいきたいか。どう生かしていくことができるか。

Blank lines for writing answers to the reflection questions.

最後に、事前学習で提示した2択の問題を覚えていますか。もちろん2200円の方がスマイリーアースのタオルです。ちなみに290円の方は無印良品のタオルです。

企業訪問研修を通して、スマイリーアースがどんな経緯で真面目なタオル作りを始め、どんなこだわりを持ってタオルを製造しているかがよく理解できたと思います。このストーリーを知り、もらったタオルに触れた上で、スマイリーアースのタオルを購入したいと思いますか。

はい ・ いいえ

そう答えた理由を書いてください。

Blank lines for writing reasons for the answer.

10/17(月)の朝のSHRで提出

SDGs 探究 AWARDS 2022

代表に選ばれた班(★のマーク)は SDGs 探究 AWARDS 2022 に応募。

【2年A組】

- 1班 海の豊かさを守ろう
- 2班 作る責任使う責任
- 3班 地球温暖化に具体的な対策を
- 4班 海の豊かさを守ろう ★
- 5班 海を綺麗にしよう
- 6班 海の豊かさを守ろう
- 7班 フェアトレードを知ってもらう
- 8班 平和について個人ができること
- 9班 ケニアの幼児問題
- 10班 リサイクルで地球環境を保つ プラスチック削減～きれいな街を

【2年B組】

- 1班 ジェンダー平等のために私たちができること
- 2班 汚い海は、だれのせい
- 3班 ポイ捨てと心理
- 4班 貧困を豊かに
- 5班 本当の幸せとは？
- 6班 飢餓・貧困をなくそう!!
- 7班 ごみの不法投棄
- 8班 レジ袋と共存していくために ★
- 9班 ゴミをヘラスンジャー
- 10班 ポイ捨てが環境に及ぼす影響(仮)

【2年C組】

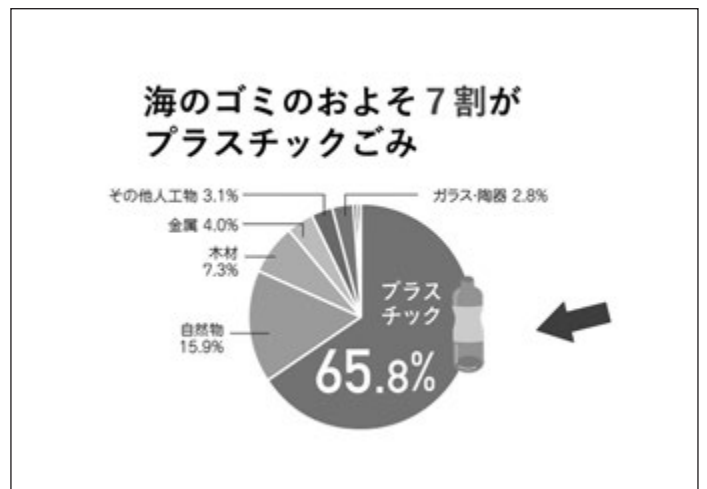
- 1班 家庭でできるフードロス対策 ★
- 2班 ごはんのためにできること
- 3班 Marine pollution
- 4班 一人の人間として生きやすい世の中へ
- 5班 海洋プラスチック
- 6班 脱炭素/CO2削減に向けて
- 7班 海洋プラスチック問題について
- 8班 食品ロス
- 9班 少子化対策 ～働き甲斐のなさが生む少子化～
- 10班 身近な省エネ

【2年D組】

- 1 班 伝統とジェンダーのバランス～ジェンダーに関する言葉の選択について～
- 2 班 SDGs 達成への第一歩
- 3 班 なくそうジェンダー！
- 4 班 フードロス削減～身近な「もったいない」をなくす～
- 5 班 子供のケアも
- 6 班 貧困問題を解決するために私たちにできること
- 7 班 いらなくなった服の行方 ★
- 8 班 Stop! ポイ捨て!!
- 9 班 プラスチック削減とリサイクル率の向上
- 10 班 地球温暖化対策と日本の発電
- 11 班 地球を守るためにゴミで私たちができること

【2年E組】

- 1 班 制服について考える
- 2 班 日本の不登校
- 3 班 作る責任 使う責任
- 4 班 正しいことで未来は変えられる
- 5 班 プラスチックごみのリサイクル！
- 6 班 制服と体操服の抱える問題について ★
- 7 班 ごみ問題意識の向上
- 8 班 子供たちにSDGsを
- 9 班 牛の月賦
- 10 班 森林伐採
- 11 班 二酸化炭素を減らす





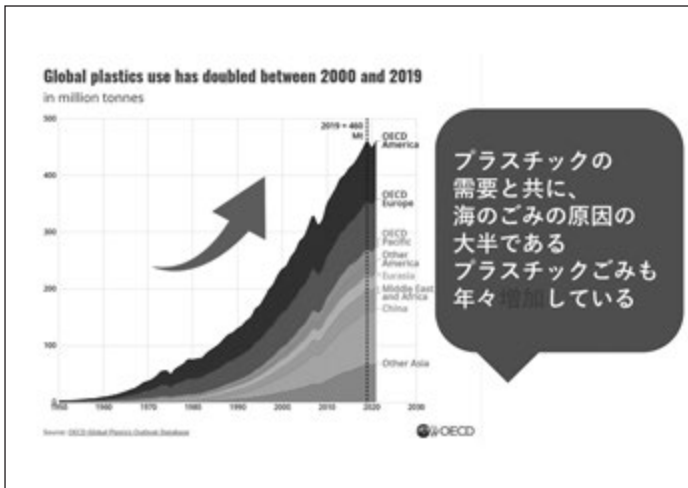
◎毎年どのぐらいのプラスチックゴミが【海】に流れているでしょうか？

- ①約100万トン
- ②約1万トン
- ③約1000万トン
- ④約10万トン

③1000万トン

東京タワー2500個分

このままだと2050年には
海のプラスチックごみが魚の量を上回る
ということを知っていますか？



なぜプラスチックごみが減らないのか？



プラスチックは大量生産が可能であり、軽量で丈夫なことから様々なシーンで利用される。そのためアジア諸国では非常に需要の高い素材で、大量の廃プラスチックが輸入され、再利用されて廃棄されてきた。



解決案

- ・ SNSで街や浜辺の清掃を呼びかける
例) Instagram、Twitter、TikTok
- ・ マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない
- ・ マイボトル、マイ箸を持ち歩く
- ・ 屋外で出たごみは家に持ち帰って処分する
- ・ ごみは所定の場所・時間に、分別して出す



私たち消費者一人ひとりの行動が
海を守ることにつながる

その意識が世界規模で広がれば、
一人ひとりの行動に意味がある

自分の今の生活を見直し、
できることを考えて動き出すことが大切！



参考文献

https://contest.japlas.jp/bj/22/2201040/images/IMG_0185.JPG

https://www.aras.com/getimage.php?path=top3233_1.jpg

https://scienceportal.jst.go.jp/wp-content/uploads/2022/02/24_n01_01.jpg

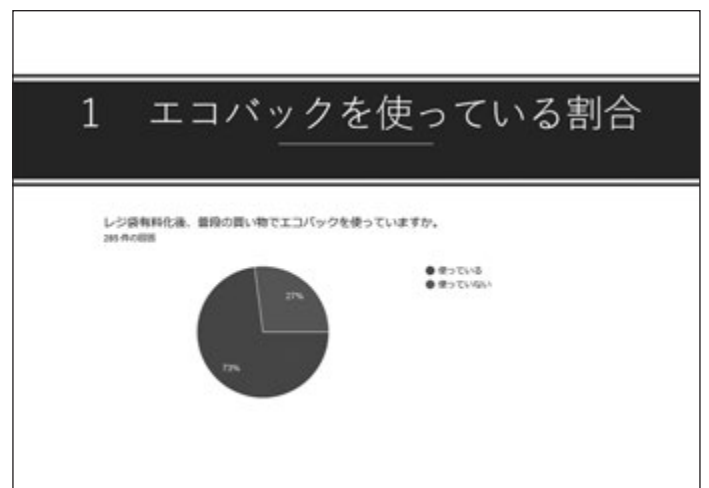
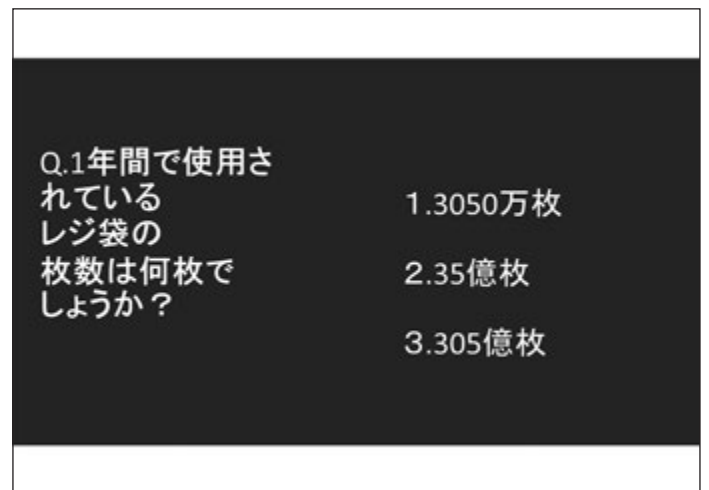
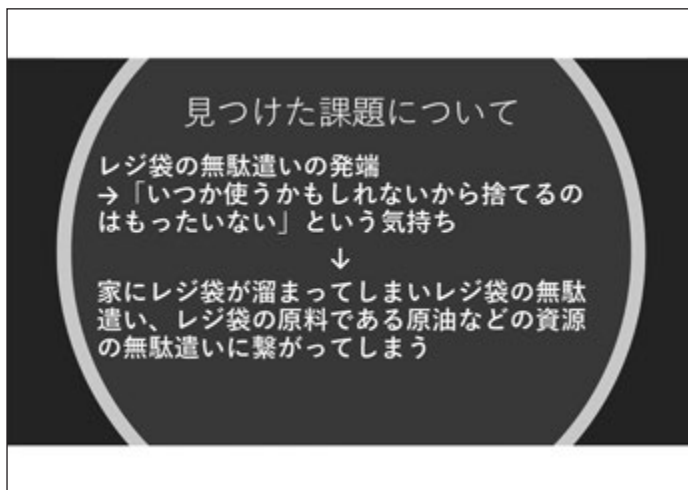
<https://www.orikane.co.jp/wp-content/uploads/2020/10/%E5%90%8D%E7%A7%B0%E6%9C%AANE8%A8%AD%E5%AE%9A1.jpg>

<https://www.mro.co.jp/blog/wp-content/themes/mro/img/unigomizero/contents/img-2.png>

<https://www.bepal.net/wp-content/uploads/2020/07/image001-1-e1594969975111.jpg>

<https://article-image-ix.nikkei.com/https%3A%2F%2Fimg1.x-proxy.nls.jp%2FDSXZ05351396018122019000000-2.jpg?dlib=js-2.3.2&w=1190&h=793&crop=focalpoint&fp=x%0.5&fp-y%0.5&fit=crop&auto=format%2Ccompress&ch=width%2CDPR&s=Odfa30f7ab9b43b62017c72b5173173>

ご清聴ありがとうございました。

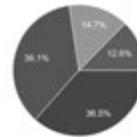


エコバックを利用することのデメリット...

- ・万引きの危険性が高まる。
- ・エコバックに入るだけの商品購入しかできなくなるため、客単価が落ち込む。

2 どのくらいレジ袋が溜まっているのか

家にどのくらいレジ袋が溜まっていますか。
285件の回答



- 片山たまっていく(20枚~)
- 少したまっていく(10~20枚)
- あまりたまっていく(10~100枚)
- たまっていない(0枚)

= 処理方法を聞いたところ...

- ・ゴミ袋として使う
 - 中のごみと一緒に捨てる
 - 可燃ごみの回収の日に捨てる
- ↓
- リサイクル出来ていない!!

= なぜリサイクル出来ていない?

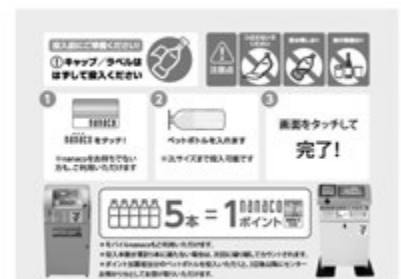
- ・レジ袋は口が結んであるとリサイクル機器で破袋できない
 - ・不透明や半透明のレジ袋は一目で中身が確認できないため、その中にごみと資源物を混入して捨てられやすい
- 分別・リサイクル作業の妨げ



ここで私たちは
「レジ袋回収機」を提案します！

私たちは「ペットボトル回収機」をもとにして、これを考えました。

ペットボトル
回収機
仕組み



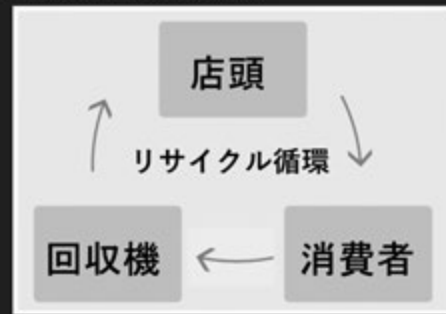
レジ袋回収機の利点は...？

レジ袋を作るのに使われている資源を
一定の量に制限できる。



資源の無駄遣いを防ぐことができる！

レジ袋回収機の流れ



まとめ

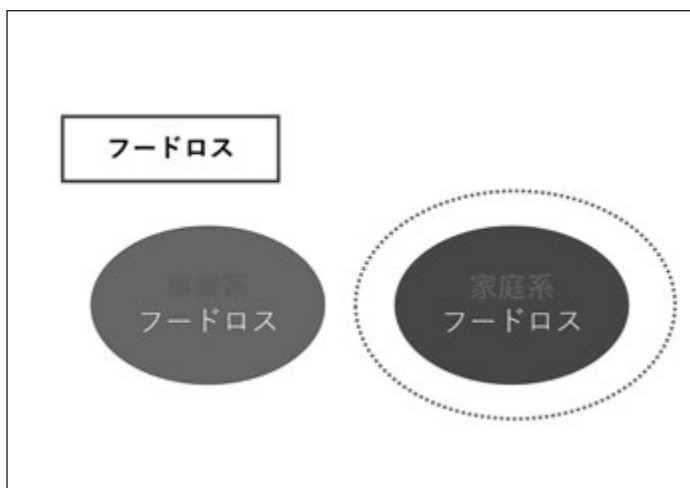
「エコバックを使うことにはデメリットもある。」
「沢山の人が家にレジ袋が溜まっている。」
「ゴミ袋として使ってしまうと再資源化ができない。」

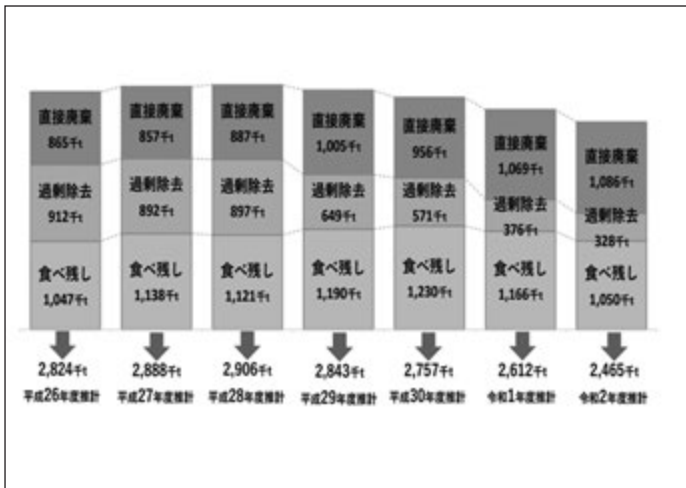
このような状況下で資源の無駄遣いを防ぎ、
持続可能な社会を作っていくために

「レジ袋回収機」を提案します。



フードロスの発生源	事業系	家庭系
概要	外食産業や食品製造業などの事業活動に伴って発生	各家庭の日々の生活において発生
フードロスが発生するケース	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店において、客が食べ残した料理を廃棄した ・小売店において、大量発注した恵方巻きやクリスマスケーキが売れ残り、廃棄した 	<ul style="list-style-type: none"> ・一回に作る量が多くなってしまい、食べきる前に廃棄した ・安売りしていたのでまとめ買いしたものの、使い切る前に廃棄した
年間フードロス量	328万トン	284万トン





① 食べ残し

解決方法

- 食べられる量を知る
- 使用した食材の量と余った量の記録をとる
- 残った料理を保存する



余った料理の 冷凍保存方法

例1 天ぷら



- ①油をよく切ってペーパータオルにのせ、常温で粗熱をとる
- ②ペーパータオルで包み、ラップでぴったりと包む
- ③冷凍用保存袋に入れ、密封して急速冷凍

例2 豚汁



- ①冷凍に不向きな食材を取り除く
- ②保存容器に入れて冷凍する

② 直接廃棄

解決方法

- あらかじめ献立を考え、人数分の食材を購入
- 買い物前の冷蔵庫チェックをする
→買い忘れ・買すぎの抑止
- 具材に合った保存方法
→食品を長持ちさせる



食材の冷凍保存方法

例1 パン



- ①小分けにする
- ②ラップに包む
- ③保存袋に入れる
- ④素早く冷凍する

例2 ごはん



- ①1膳分をラップの上ののせる
- ②平らにして丁寧に包む
- ③粗熱を取って、冷凍庫で保存する

建設にかかる費用

高額

③過剰除去

解決方法

- 今まで調理の際に捨ててしまっていた食材を、工夫して美味しく食べる。
 - 野菜の皮の部分には、栄養がたくさん詰まっているので、捨てるのではなく栄養を取る。
- 食材を使い切るレシピに挑戦



～普段捨てている
部分の活用～

【野菜くずで0円お掃除！】

- 曇っているキッチンや鏡、窓を大根汁で掃除。
- じゃがいもの皮を使ってシンクをピカピカにする。
- 枝豆のゆで汁を布巾に含ませて油污れを落とす。



まとめ

参考文献

- <https://www.nichireifoods.co.jp/media/748/>
- <https://tokubai.co.jp/news/articles/2940>
- <https://housefoods-group.com/activity/e-mag/magazine/images/82/c.jpg>
- <https://www.em.go.jp/recycle/foodloss/general.html>



寄付

課題 | ・発展途上国でもゴミになっている



現状

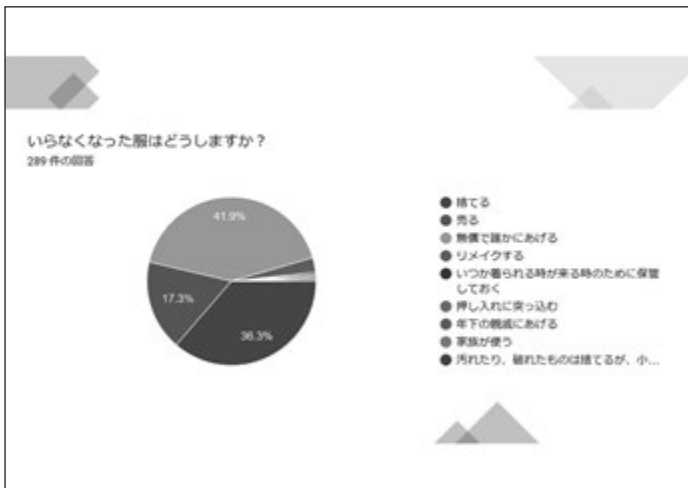
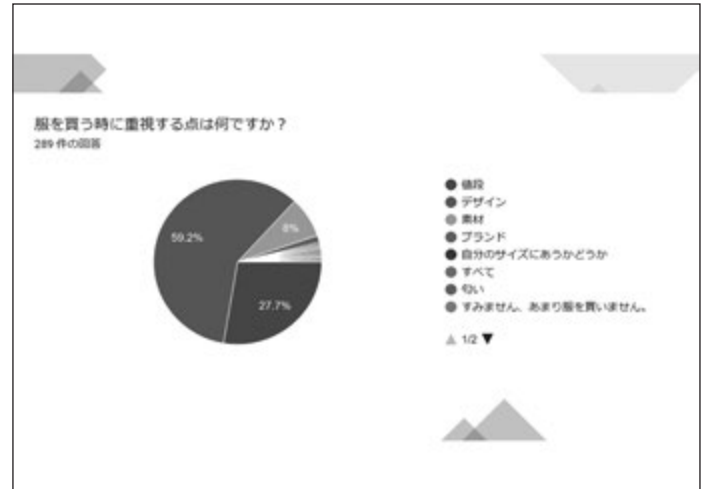
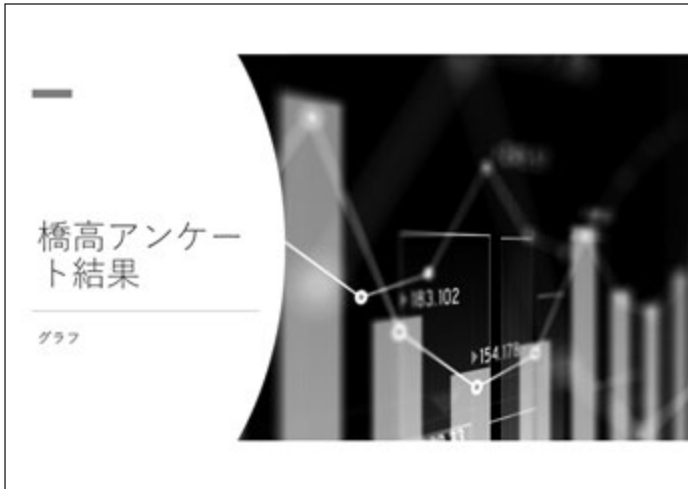
- 日本や欧米からアフリカなどに届く古着は年間約20億着
- ガーナ：毎週1500万着輸入されている。約4割が埋め立て処分

解決方法

- 発展途上国のゴミを減らしたり、寄付する量を少なくする

規模
が大きすぎる

自分たちの国でまず対策しよう



地元内で共有できるアプリやホームページをつくる

ターゲット：地元の方々

条件：①リサイクル②簡単



フリマアプリ

デメリット



新しいフリマサイトの提案

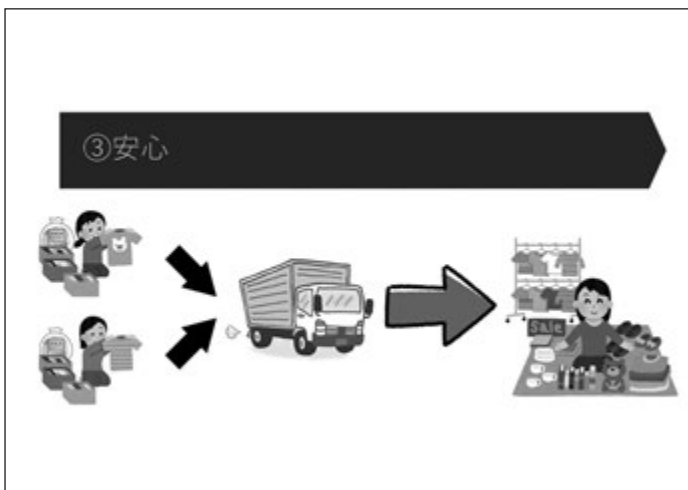
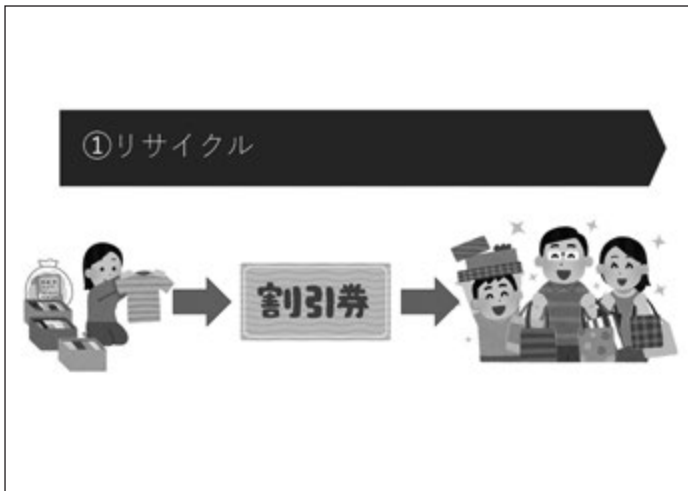
解決方法

ターゲット：地元の方々

条件：①リサイクル②簡単③安全

HAPIRO

<https://yu010app.wixsite.com/hapiro>



利益

The complex block is titled '利益' (Profit). It features two main visual elements: a hand holding a smartphone displaying 'Sale' and a sign that says '会員募集中' (Member Recruitment). The sign also includes the characters '会' and '員' on either side of the main text.



実際に使ってみて改善すべき点

- 服の細かい部分を見れるようにする
- サイトを開いたときに出てくるタイトルの見やすさ
- 需要と供給の均衡を保つことができるのか

The complex block features a central circle with the text '実際に使ってみて改善すべき点' (Points to be improved by actually using it). To the right of the circle are three text boxes containing the following points: '服の細かい部分を見れるようにする' (Make it possible to see small details of clothes), 'サイトを開いたときに出てくるタイトルの見やすさ' (Ease of seeing titles when the site is opened), and '需要と供給の均衡を保つことができるのか' (Can we maintain a balance between demand and supply?).




まとめ



参考文献

- https://form.run/media/contents/website-ip-creation/homepage-creation-tool/#1_WordPress
- <https://jmtv.jp/safety>
- <https://globalnewsview.org/archives/10263>
- <https://www.env.go.jp/>
- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220218/k10013486591000.html>



ご清聴ありがとうございました

制服・体操服の 抱える問題について

2E 6班

動機①

私たちの家でも処分に困っている

動機①

(例)

- 3兄弟
- 年の近い兄
- 兄と通った中学校が違う

↓

最大6着ずつの制服・体操服

動機②

家庭での繊維系廃棄物は年間200t以上

● 古着として販売	11%
● 譲渡・寄付	3%
● 地域・店舗での回収	11%
● 資源回収	7%
● 可燃ごみ・不燃ごみとして廃棄	68%

服を手放す手段の分布（環境省）

2021年4月4日
学校を卒業した後の学生服(制服)・園服をどうするか？
2000人の母親を対象にしたアンケート調査

- 処分せずにしばらく取っていると思う (7.3%)
- 他人に譲ると思う (28.13%)
- すぐに捨てると思う (61.7%)
- その他

制服・体操服の量

- 制服(夏・冬)+体操服(短・長)=2.5kg(橋本高校)
- 和歌山県の中学生約2万4000人
- 和歌山県の高校生約2万3000人
- 約70%が廃棄

↓

$\{2.5\text{kg} \times (2,4000 + 2,3000)\} \times 0.7 = 82,250\text{kg}$

和歌山県の制服・体操服だけで、

約8tの繊維系廃棄物



制服・体操服のデメリット

- 着回し、普段使い✖
- 高価
- かさばる
- サイズが合わないと渡せない
- 年の近い兄弟がいると買う必要有り



(9-4)



2030年までに、資源をよりむだなく使えるようにし、環境にやさしい技術や生産の方法をより多く取り入れて、インフラや産業を持続可能なものにする。すべての国が、それぞれの能力に応じて、これに取り組む。



(12-5)

2030年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。

処分方法

・リユース(譲る)

・リメイク



全員ができるわけではない

解決策

学校=企業

制服に関して

- きのくに信金とKANKO、KAKAYAが回収→中古販売
(いずれも和歌山の企業)

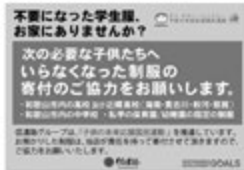


NPO法人 はぐくみ
制服リユースSHOP
KAKAYA

・価格設定
定価の3分の1～4分の1

・どれくらい回収するのか
3年で5000～6000着

・年にどれくらい買い手がいるのか
200人程度



橋本高校にも卒業式後の2週間
回収BOXが設置されている



学校が回収



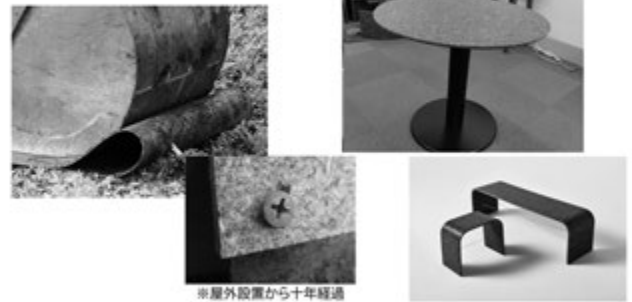
体操服に関して

・リフモ

KADOCO
門倉貿易株式会社



特長・用途



※屋外設置から十年経過

学校が回収

企業によるリサイクル

学校の備品として使用



学校＝企業

環境破壊を防ぐ

まとめ

- まず、身近にある衣服の取り扱いから気をつけていかなければならない
- 企業・学校・家庭の垣根を越えてSDGsに取り組むことが大切

参考文献①

- KAKAYA：制服リユースSHOP (kakaya2020.com)
- 制服と本回収しリユースしよう きのくに信金 | ニュース和歌山 (nwn.jp)
- リサイクル新素材『リフモ』のホームページ (kadoco.co.jp)
- 繊維製品リサイクル懇談会報告書 (経済産業省) (keizaireport.com)
- 環境省 サステナブルファッション (env.go.jp)
- ブログ：卒業後の学生服（制服）園服は、どうしてる？2,000人のアンケート結果発表 (omoide-afuremu.com)

参考文献②

- 統計局ホームページ/日本の統計 2022－第25章 教育 (stat.go.jp)
- 令和3年度学校基本調査結果（速報） | 和歌山県 (wakayama.lg.jp)
- 制服なぜないの？ - イブニング信州 - NHK
- 【繊維リサイクルプロジェクト Textile Recycling Project】繊維の回収・再生・マテリアルリサイクルの循環型繊維リサイクル (textile-recycling-project.com)

8. 2 学年事業内容 ⑨クラス内発表

SDGs 探究活動を振り返って

8月から続けてきた SDGs 探究活動も1 / 19のクラス別発表会を終えて一つの区切りがつかしました。しかし、探究活動はこれがゴールではありません。それぞれの班でSDGs 達成に向けて出した答えで、持続可能な世界は訪れそうですか。答えがない課題に取り組む、それが「探究活動」です。終わりのない答え探しを続けていかなければなりません。

() 班
メンバー(), (), ()

8月からの班での活動を振り返りましょう。

○活動の内容に関すること

(1)SDGs に対する考え方は、活動の前後でどう変わりましたか。

(2)この活動を通して、学んだことを書いてください。

2年()組()番()

(3)もし次に同じような活動をするならば、どんな課題に取り組みたいですか。理由とともに書いてください。

○自己評価

(1)班の中で、どんな役割を担いましたか。

(2)この活動を通して、成長したと思うことを書いてください。

(3)逆に、足りていなかったと思うことを書いてください。

(4)自分に点数をつけるなら何点ですか。また、その点数をつけた理由を書いてください。

() 点

理由

○他者評価

自分のことは自分が一番わかっていると思っているかもしれませんが、他者から見た自分にはひょっとすると意外な一面があるかもしれません。班での活動のなかで見てきた自分の良いところを、他者に書いてもらいましょう。

① 記入者氏名 ()

② 記入者氏名 ()

③ 記入者氏名 ()

先生のコメント



SDGs 探究 AWARDS 2022 エントリーシート

すべての項目について必ず記入してください

学校名 (複数校のグループはすべての学校)	
グループ名 (個人エントリーの方は氏名)	
作品タイトル	
テーマにした国・地域	
着目した課題とその原因	
根拠となるデータ (課題や原因の根拠がわかる 数値など)	
課題解決のために自分が できるアクション	
SDGs との関連性	
アクションのために 必要なこと (クリアしなければならない壁や条件など)	
参考文献 (発表資料をつくるために参考にした文書名や サイト URL)	
PR 文 (400 字以内) (発表内容や PR ポイントを 簡単にご紹介ください)・	

○エントリー方法の詳細は、web サイトに記載の「エントリー方法」をご参照ください。

発表班 2年（ ）組（ ）班

各項目 5 段階評価で、数字に○をつけてください。

1. SDGs との関連性を意識していた。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

2. 具体的な課題を設定できていた。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

3. 課題に対して矛盾のない解決策を提案していた。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

4. 一般論ではなく、独自性のある内容だった。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

5. 客観的な裏付けがなされていた。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

6. アンケートやインタビュー、フィールドワークなどの行動をし、主張の根拠として効果的に活用していた。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

7. スライド等の資料が見やすかった(文字のサイズ、文字の量、画像、グラフなど)。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

8. 発表の仕方（声の大きさ、話し方、原稿の読み上げになっていないかなど）が良かった。

そう思わない 1 2 3 4 5 そう思う

合計（ ）点

討議の記録（2/17(金)7限）

()組()班 ()組()班 ()組()班 記録係()

(1) 討議のテーマ

それぞれの発表から見えてきた課題から、討議のテーマを決めましょう。

[]

(2) 討議の概要

裏面にメモをとり、最後に討議の概要をまとめましょう。

[]

(3) 課題解決に向けて

討議のテーマについて、課題を解決することは容易ではありませんが、自分たちならどんなことに取り組めるでしょうか。

[]